

さくいん

英数字 ページ

■Any接続の設定(無線LAN)	32
■BSSID(無線LAN)	30
■Connect Play(モバイル連携)	12
■DHCPサーバ機能の設定(ルーター)	36
■DMP機能(DLNA)	12
■DMS機能(DLNA)	11、19
■DMR機能(DLNA)	11、19
■DMZ機能(ルーター)	38
■DNS 1/2(LANの設定)	17
■ESSID(無線LAN)	30
■IPアドレスの設定(LANの設定)	17
■IPパケットフィルタリングの設定(ルーター)	40
■Jlabs SPEC-020	13、14
■MACアドレス(DLNA/無線LAN/ルーター)	19、33、39
■MACアドレスフィルタの設定(無線LAN/ルーター)	33、39
■PINコード方式(無線LAN)	34、35
■Smart TV Remote(モバイル連携)	12
■Smart TV Remote DMC(モバイル連携)	12
■SSID(無線LAN)	23、30~32
■UPnP機能(ルーター)	38
■LAN端子での接続	8、15
■LANの設定	16
■LAN録画	13
■WAN端子での接続	5、7
■Wi-Fi(無線LAN)	15、22
■Wi-Fi簡単登録(無線LAN)	35
■Wi-Fi動作モード(無線LAN)	9、22、27
■WPS機能(無線LAN)	25、34、35

あ行 ページ

■アクセスポイント(無線LAN)	15、27、28~34
■暗号化方式(無線LAN)	31
■インターフェイスの設定(無線LAN)	28
■親機:アクセスポイント(無線LAN)	15、22

か行 ページ

■隔離機能の設定(無線LAN)	32
■かんたん接続機能(無線LAN)	24
■機器の詳細情報(DLNA)	19
■クライアント(無線LAN)	27、29、35
■ゲートウェイアドレス(無線LAN)	36
■ケーブル端子での接続	4、6
■ケーブルモデム設定	21
■ケーブルモデム電源連動	21
■子機:クライアント(無線LAN)	9、22、27、35

さ行 ページ

■サブネットマスク(LANの設定)	17
■サーバー機器一覧(DLNA)	19
■サーバー(DMS)機能設定(DLNA)	19
■初期化(ネットワーク機能)	41
■視聴機器一覧(DLNA)	19
■接続可能なネットワーク(無線LAN)	35

た行 ページ

■宅外リモート接続設定	20
■ダビング(DLNA)	14
■ダビングモードの設定(DLNA)	19
■デフォルトゲートウェイ(LANの設定)	17
■通信チャンネル(無線LAN)	28
■通信許可フィルタ(無線LAN/ルーター)	33、39
■テレビ用ブラウザ設定	21

な行 ページ

■ネットワーク関連設定	18、20
■ネットワーク追加(無線LAN)	35
■ネットワーク機能の初期化	41
■ネットワーク機能再起動	41
■ネットワークの設定	16~41

は行 ページ

■パススルーの設定(ルーター)	38
■パズフレーズの設定(無線LAN)	31
■ファイアウォール(ルーター)	40
■プッシュボタン方式(無線LAN)	24、25、34、35
■プライバシーセパレータ機能(無線LAN)	32
■プロキシアドレス	21
■プロキシ設定	41
■プロキシポート番号	21
■ポートフォワーディング(ルーター)	37
■ホームネットワーク(DLNA)の設定	19
■本機の名称変更(DLNA)	19

ま行 ページ

■無線LAN(Wi-Fi)の接続・設定	22、26
■無線周波数出力の設定(無線LAN)	29
■モバイル連携	12

ら行 ページ

■リモート接続機能	20
■レンダーラ(DMR)設定(DLNA)	19

Smart TV Box

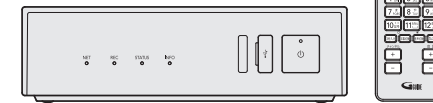
C01AS1/2/3/4/5/6/7/8

ネットワーク接続ガイド

Smart TV Box

ネットワーク接続ガイド

品番 C01AS1 / C01AS5
C01AS2 / C01AS6
C01AS3 / C01AS7
C01AS4 / C01AS8



- 本ネットワーク接続ガイドは、本機からネットワークへの接続と設定について記載しています。本機の取扱説明書も合わせてお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やお客様のご使用環境により、ネットワーク機器との接続方法や設定が異なる場合があります。
- 本ネットワーク接続ガイドは大切に保管してください。



はじめに

本書(ネットワーク接続ガイド)は、本機から宅外のネットワークへの接続とご家庭内のホームネットワークへの接続について説明しています。

ネットワーク接続について

本機は、無線LAN(Wi-Fi)を内蔵しています。auのかんたん接続機能やWPS機能により、DLNA対応のスマートフォンなどのモバイル機器と無線LAN(Wi-Fi)で接続ができ、本機で受信した番組やUSBハードディスクに録画した番組を、スマートフォンなどのモバイル機器で視聴やダビング(番組持ち出し)ができます。

本機をネットワークに接続するための代表的な接続例を4~8ページに記載しています。ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やお客様のご契約内容によって、ネットワーク機器との接続方法や設定などが異なりますので、よくご確認のうえ、正しく接続・設定してお使いください。

※接続や設定について、不明な点がございましたら、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

インターネットについて

本機は、アンドロイドのブラウザを使ってインターネットに接続することができ、テレビの大画面でインターネットを楽しむことができます。また、インターネット経由でauマーケットなどから、アンドロイド用に作成された多彩な無料/有料アプリやコンテンツをダウンロードして、利用することができます。

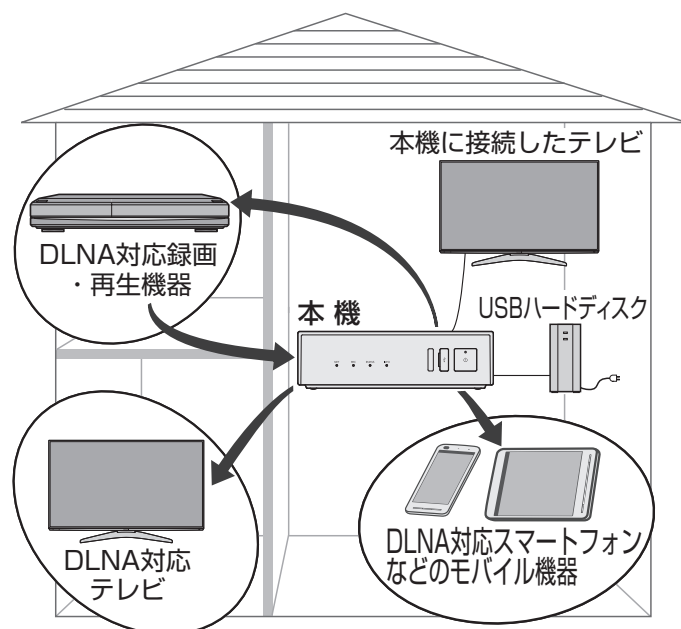
※インターネットへの接続方法は、ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によって、異なります。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

ホームネットワークについて

ご家庭のホームネットワークに本機を接続することで、本機で受信中の番組やUSBハードディスクに録画した番組を別の部屋のテレビで視聴したり、別の部屋の機器に保存された番組を本機で視聴することができます。

また、別の部屋の録画機器で番組を録画したりダビングすることもできます。

※本機と連携して使用するネットワーク機器は、あらかじめ本機に登録する必要があります。最大20台までです。(ホームネットワークの設定 19ページ)



もくじ

ページ ネットワーク接続例

- 4 **本機からインターネットに接続する**
(ケーブル端子で接続/WAN端子で接続)
- 6 **本機と既存のネットワークの2経路でインターネットに接続する**
(ケーブル端子で接続/WAN端子で接続)
- 8 **既存のネットワーク経由でインターネットに接続する**
(有線(LANケーブル)で接続/無線LANで接続)

ページ ネットワーク機器を使う

- 10 **総合イメージ図** (ホームネットワーク)
- 11 **DMS機能** (本機で受信した番組やUSBハードディスクに録画した番組を他のテレビなどで見る)
DMR機能 (スマートフォンなどの操作で、他の機器の動画などを見る)
- 12 **DMP機能** (DLNA対応機器で録画した番組や動画(ビデオ)を本機で見る)
モバイル連携 (スマートフォンなどで本機をリモコン操作する)
- 13 **LAN録画** (本機で受信した番組をDLNA対応機器に予約録画する)
- 14 **ダビング** (本機でUSBハードディスクに録画した番組を他の録画機器にダビングする)

ページ ネットワークの設定

- 16 **LANの設定**
- 18 **ネットワーク関連設定**
 - 19 ホームネットワーク(DLNA)の設定
 - 20 宅外リモート設定
 - 21 ケーブルモデム設定/テレビ用ブラウザ設定
- 22 **無線LAN(Wi-Fi)の接続**
- 26 **無線LAN(Wi-Fi)の設定**
- 36 **ルーターの設定**
- 41 **その他のネットワーク設定** (ネットワーク機能初期化/ネットワーク機能再起動/プロキシ設定)

ページ 必要なとき

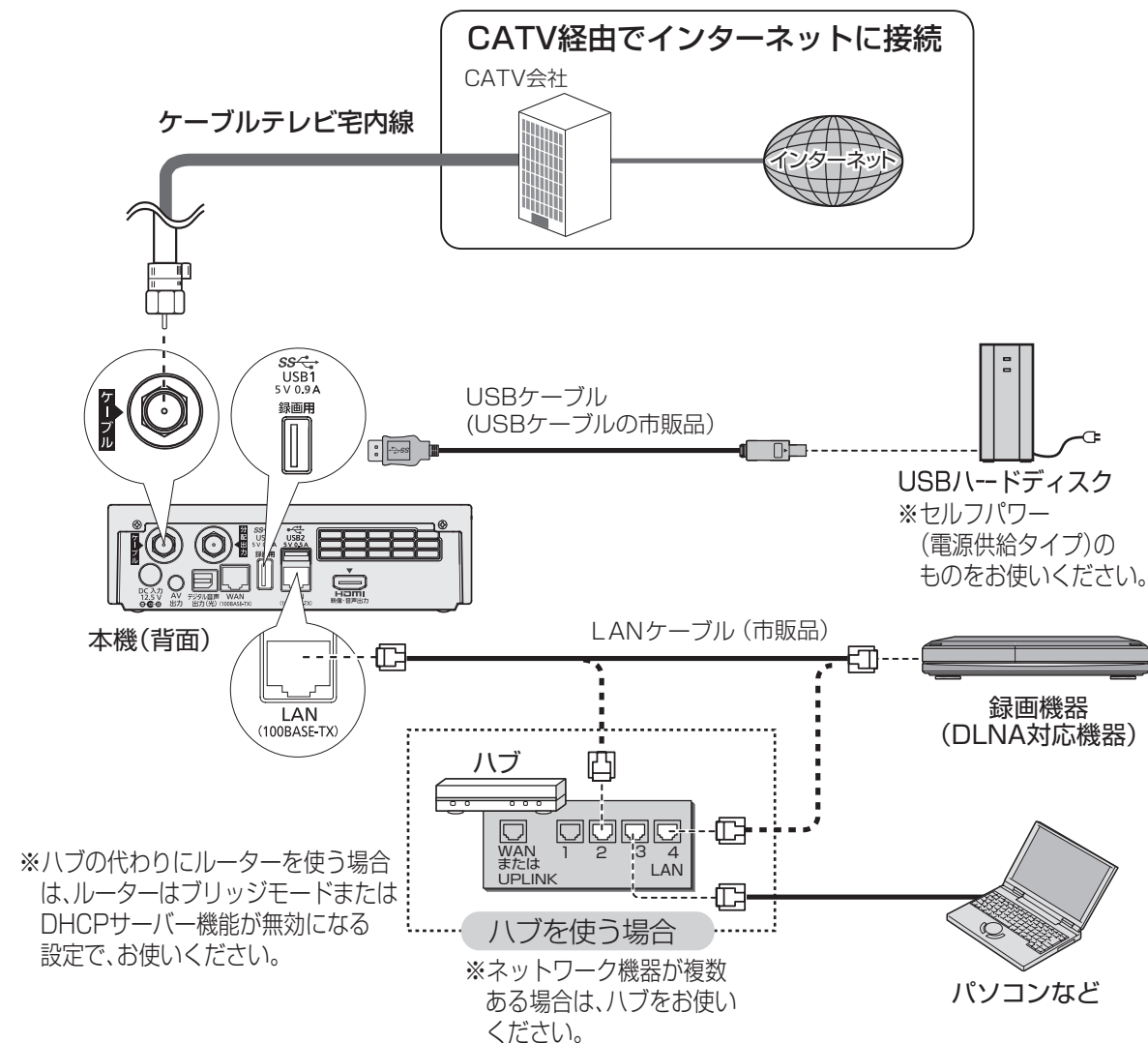
- 42 **Q&A**
- 裏表紙 **さくいん**



本機からインターネットに接続する

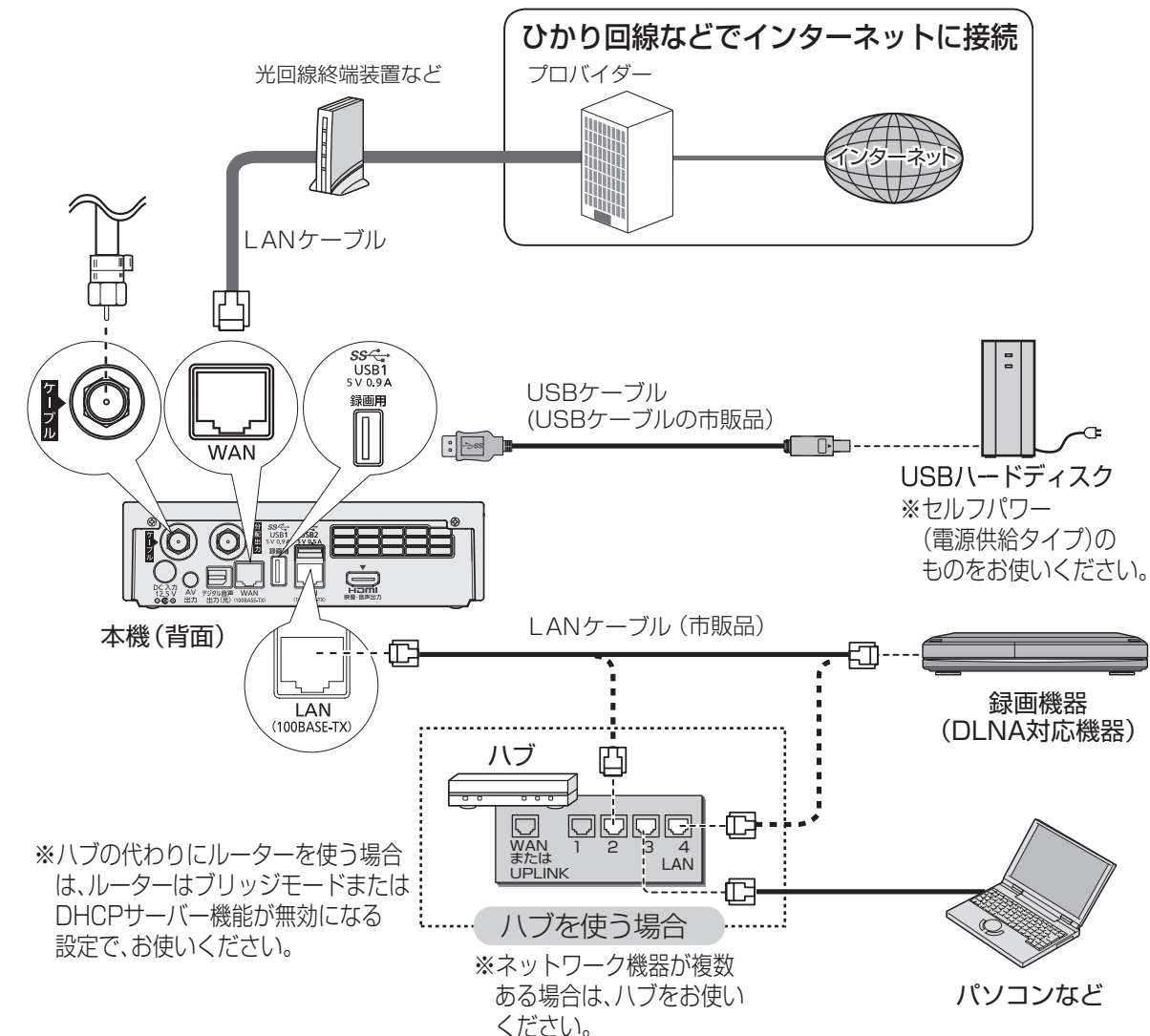
内蔵ルーターを使用して本機のケーブル端子から、ネットワーク機器をインターネットに接続します。

ケーブル端子で接続する



内蔵ルーターを使用して本機のWAN端子から、ネットワーク機器をインターネットに接続します。

WAN端子で接続する



■接続後は、必ずネットワーク設定(☞ 16~19ページ)を行ってください。

お願い

- ハブはLAN端子が100BASE-TX以上のものをご使用ください。
- 「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やお客様のご使用環境によって、ネットワーク機器との接続方法や設定などが異なる場合があります。

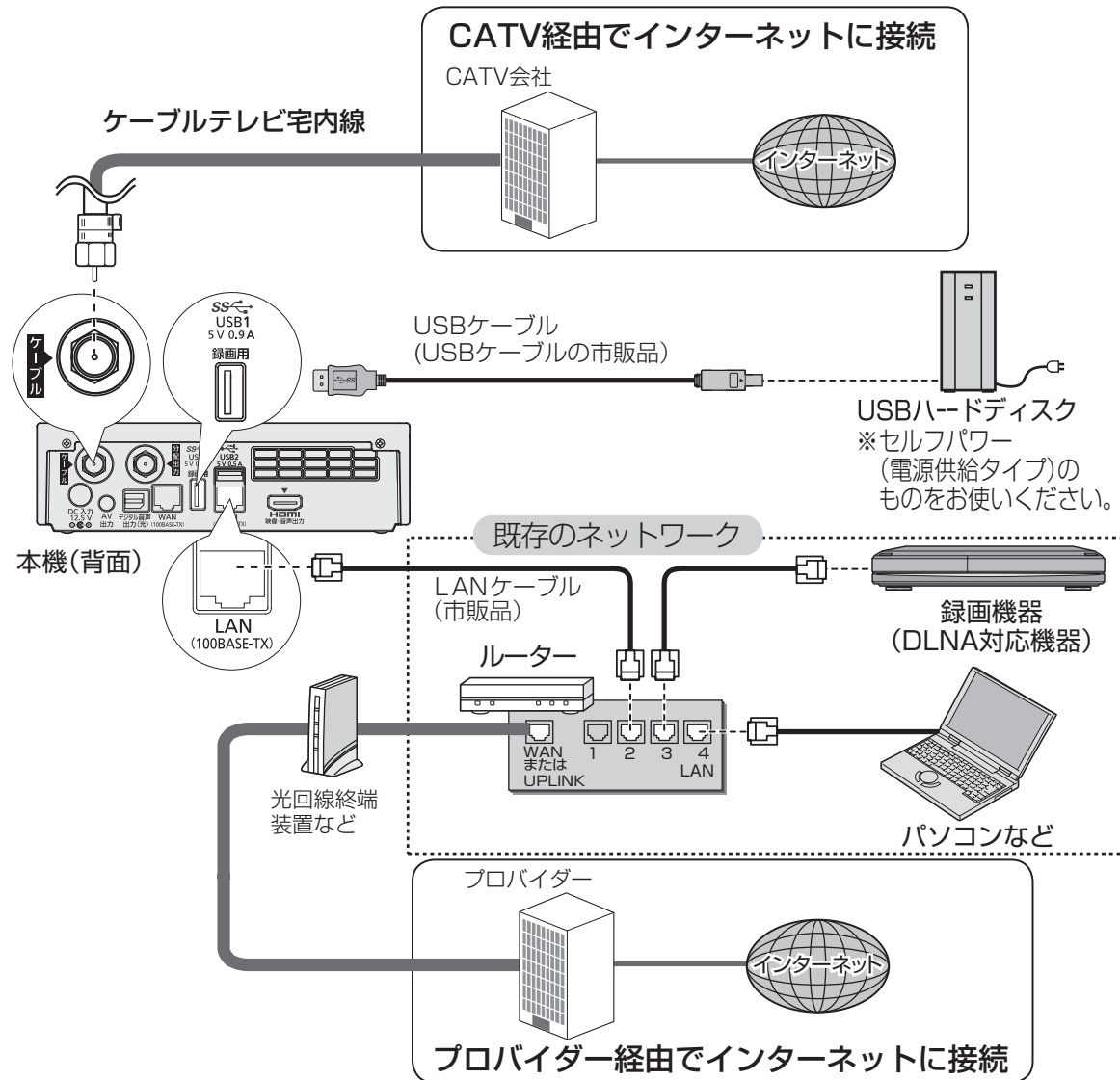
お知らせ

- 本機と録画機器は同じネットワーク(同一のセグメント)内に接続されている必要があります。
- ルーター機能を有効にしている機器が接続されていると、正常に動作しなくなることがあります。機器の取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定をしてください。

本機と既存のネットワークの2経路でインターネットに接続する

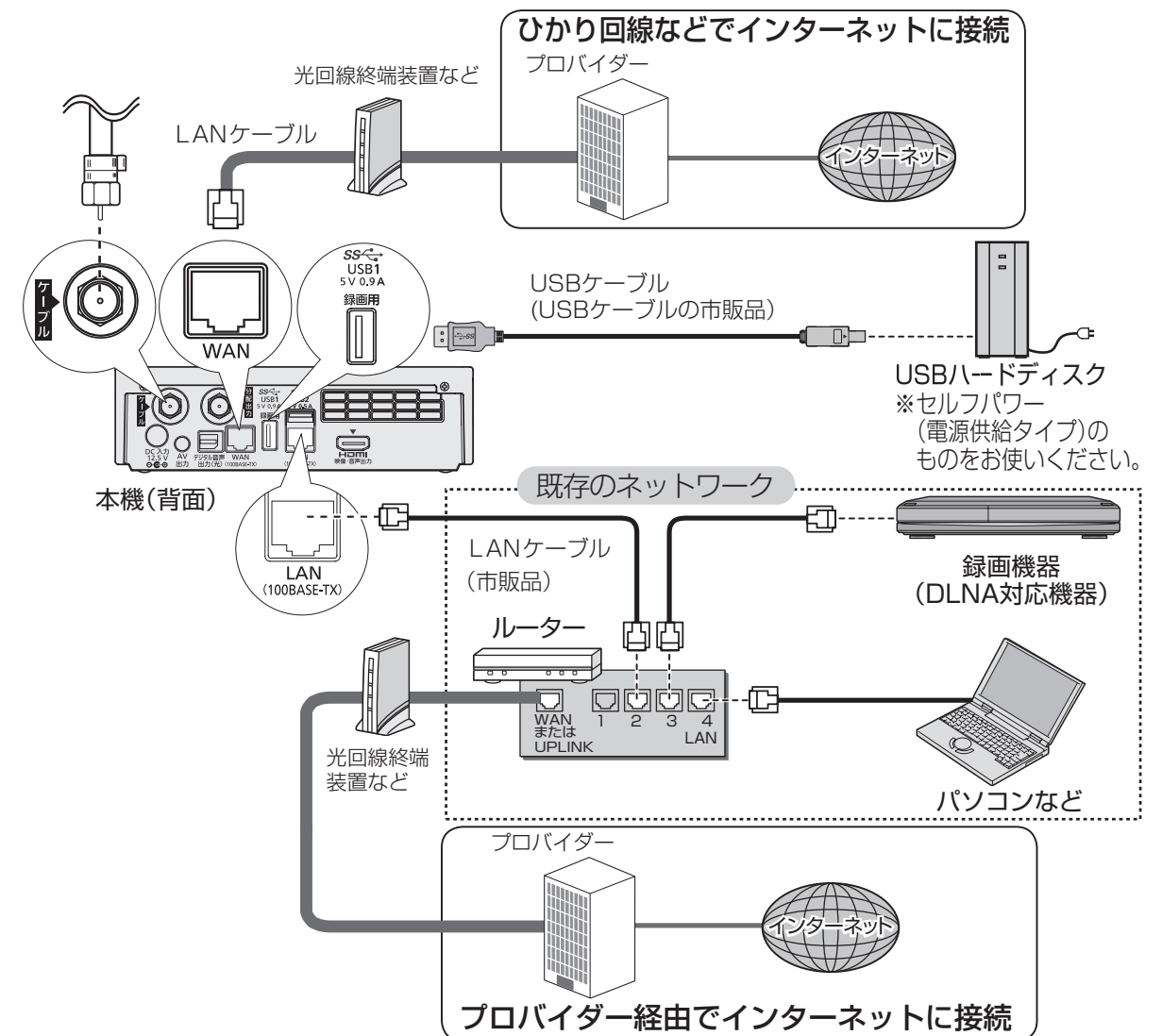
すでにご家庭でお使いのネットワークに本機を追加する場合の接続例です。
(本機以外のネットワーク機器は既存のネットワーク経由でインターネットに接続します)

ケーブル端子で接続する



すでにご家庭でお使いのネットワークに本機を追加する場合の接続例です。
(本機以外のネットワーク機器は既存のネットワーク経由でインターネットに接続します)

WAN端子で接続する



ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やお客様のご使用環境によって、ネットワーク機器との接続方法や設定などが異なる場合があります。

お知らせ

- ブロードバンドルーターのDHCPサーバー機能は「有効」(IPアドレスを自動で割り当てる)に設定されることをおすすめいたします。(通常は「有効」に設定されています。「無効」にした場合は、固定IPアドレスの設定が必要となります。)

■接続後は、必ずネットワーク設定(16~19ページ)を行ってください。

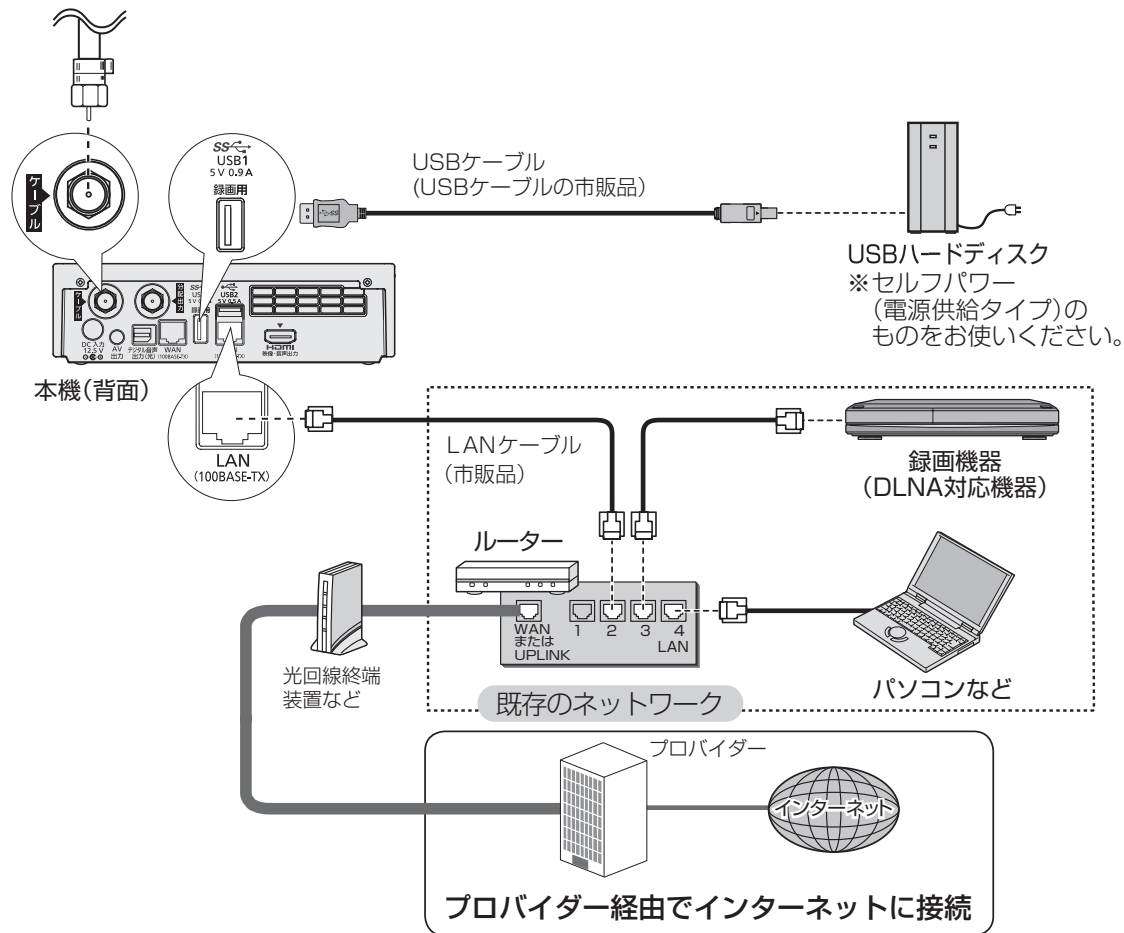
お願い

- ブロードバンドルーターのDHCPサーバー機能が「有効」の場合、ブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ブロードバンドルーターの電源を切らないでください。

既存のネットワーク経路でインターネットに接続する

すでにご家庭でお使いのネットワークに本機を追加する場合の接続例です。
(本機も既存のネットワーク経路でインターネットに接続します)

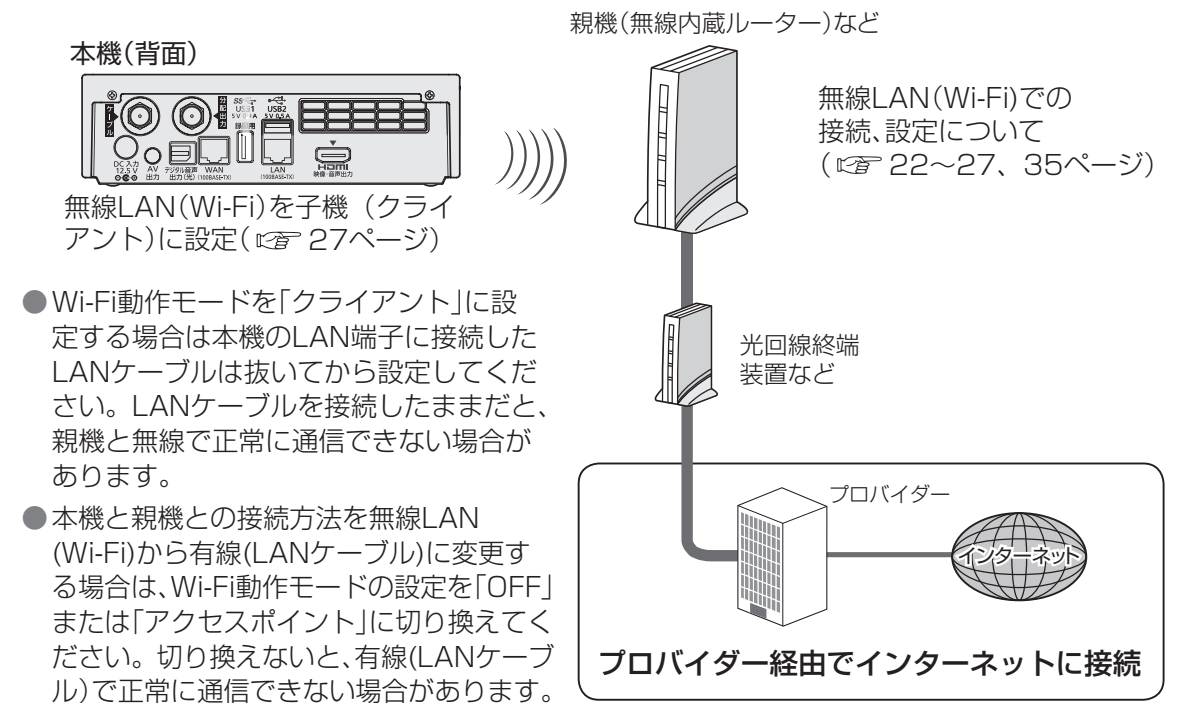
有線(LANケーブル)で接続する



すでにご家庭でお使いのネットワークに本機を追加する場合の接続例です。
(本機も既存のネットワーク経路でインターネットに接続します)

無線LANで接続する

本機を子機として、親機のルーターに無線LAN(Wi-Fi)で接続する場合の接続



- Wi-Fi動作モードを「クライアント」に設定する場合は本機のLAN端子に接続したLANケーブルは抜いてから設定してください。LANケーブルを接続したままだと、親機と無線で正常に通信できない場合があります。
- 本機と親機との接続方法を無線LAN(Wi-Fi)から有線(LANケーブル)に変更する場合は、Wi-Fi動作モードの設定を「OFF」または「アクセスポイント」に切り換えてください。切り換えないと、有線(LANケーブル)で正常に通信できない場合があります。

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やお客様のご使用環境によって、ネットワーク機器との接続方法や設定などが異なる場合があります。

お知らせ

- プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- インターネットの動画コンテンツを視聴するときは、光ファイバー(FTTH)、ADSLなどのブロードバンド環境が必要です。お使いのネットワーク環境によってはプロバイダーや回線業者と別途ご契約(有料)が必要になる場合があります。
 - ・100BASE-TX以上のハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。
 - ・PLCを使わずにLANケーブルまたは無線LAN(Wi-Fi)でのご使用をおすすめします。
- ブロードバンドルーターのDHCPサーバー機能は「有効」(IPアドレスを自動で割り当てる)に設定されることをおすすめいたします。(通常は「有効」に設定されています。「無効」にした場合は、固定IPアドレスの設定が必要となります。)

■接続後は、必ずネットワーク設定(☞ 16~19ページ)を行ってください。

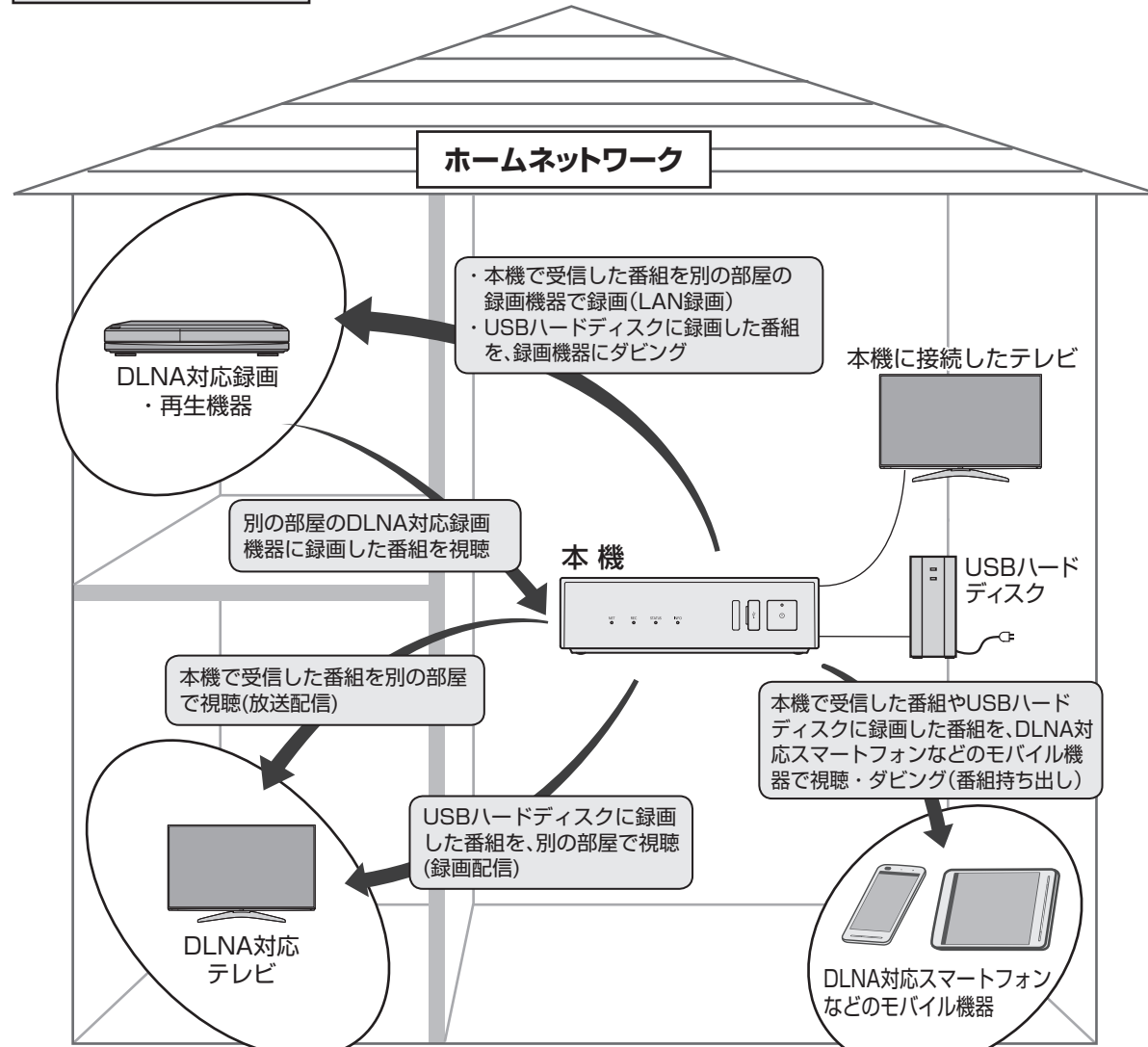
お願い

- ブロードバンドルーターのDHCPサーバー機能が「有効」の場合、ブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ブロードバンドルーターの電源を切らないでください。

ネットワーク機器を使う

ご家庭内のホームネットワーク(LAN)に本機を接続することにより、同じホームネットワークに接続しているネットワーク機器(DLNA対応機器)に対して下記のような操作ができます。

総合イメージ図

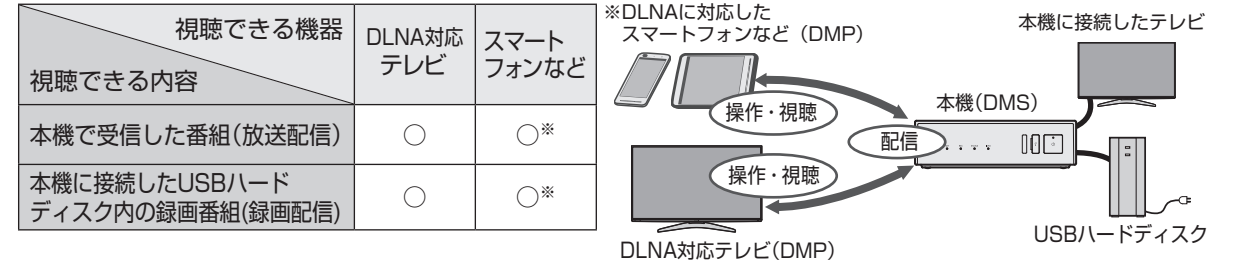


※DLNA機能の対象は動画のみです。写真・音楽には対応していません。

お知らせ

- 本機と連携して使用するネットワーク機器は、あらかじめ本機に登録することが必要です。登録できるのは最大20台までです。(Wi-Fiクライアントの接続台数は最大32台までです。)
- ご使用前にネットワーク機器側の設定が必要な場合や、本機と連携して使用できない場合があります。あらかじめネットワーク機器の取扱説明書をご確認ください。
- DLNA機能(DMS、DMP、DMR、LAN録画、ダビング)動作中にネットワーク設定を変更すると、配信や再生が中断されたり、LAN録画やダビングが正常に行えない場合があります。
- DLNA/DMC/DMP/DMS/DMRなどの用語解説については13ページをご覧ください。

本機で受信した番組やUSBハードディスクに録画した番組を他のテレビなどで見(DMS機能)

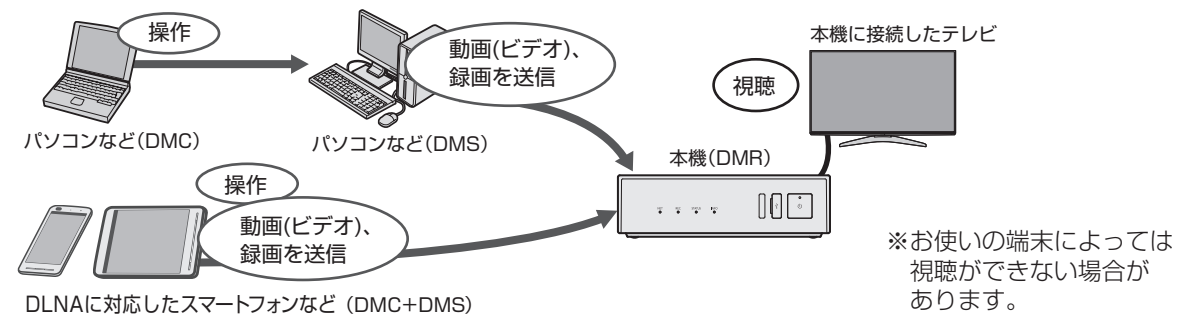


- 本機のDMS機能を使用するには、「サーバー機能」を「ON」にしてください。(☞ 19ページ) (クイックスタートの設定が「ON」になるため待機時消費電力は最小になりません。)
- 電源を「切」にしてもDMS機能は動作します。
- DMS機能使用中は、ステータスランプ(STATUS)が橙色点灯しています。
- 操作は相手先の機器で行います。詳しくは相手先機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 2台以上の機器で同時に視聴することはできません。
- デジタルコピー禁止の番組は視聴することができません。
- 無線LAN接続の場合、暗号化方式の設定(☞ 31ページ)をしていないときは、視聴できない番組があります。
- 本機と通信できる機器を制限することができます。「視聴許可方法」を「手動許可」に設定したうえで、「視聴機器一覧」から設定してください。(☞ 19ページ)
- 以下の場合、DMS機能(放送配信機能を含む)を使うことができません。
 - ・LAN録画中
 - ・ダビング中
 - ・設置設定中(ネットワーク設定など)
- 本機でLAN録画やダビングの操作をすると、放送配信や録画配信が中止されます。(☞ 取扱説明書 117ページ)
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容や、ご利用の環境(JLabs SPEC-020非対応の機器など)によっては、他の機器で視聴することができない場合があります。

スマートフォンなどの操作で、他の機器の動画などを見る(DMR機能)



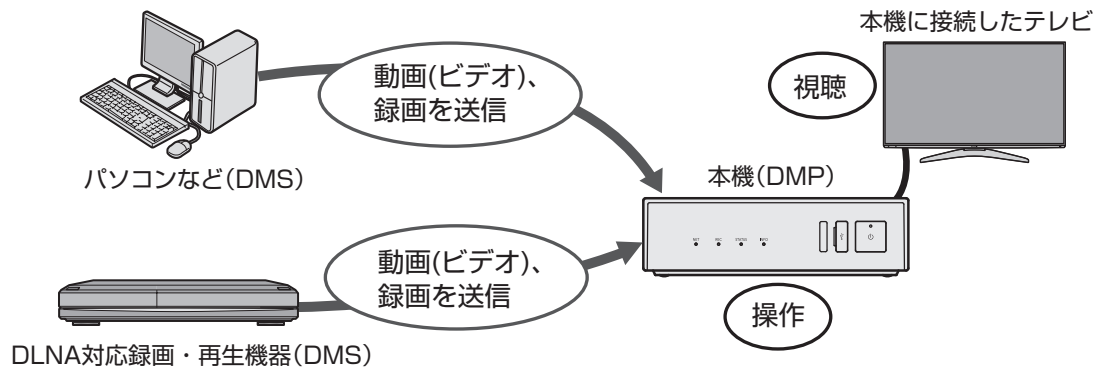
- 本機の「レンダラー(DMR)機能設定」を「ON」に設定してください。(☞ 19ページ)

お知らせ

- 本機の電源を「切」にすると、DMR機能は使えません。
- DMCとDMSが同じパソコンでも使うことができます。
- 以下の場合、DMR機能を使うことができません。(☞ 取扱説明書 117ページ)
 - ・ダビング中
 - ・設置設定中(ネットワーク設定など)

ネットワーク機器を使う

DLNA対応機器で録画した番組や動画(ビデオ)を本機で再生する(DMP機能)



本機とDLNA対応機器の両方でネットワークの設定が必要です。(本機の設定は 16~19ページ)

お知らせ

- 録画番組を「途中から」視聴する場合、視聴開始位置は最後にホームネットワーク画面に録画番組または動画の一覧を表示した時点の視聴開始位置になる場合があります、実際の視聴開始位置と異なる場合があります。
- 本機の操作で番組や動画を消去する場合、録画機器、録画番組や動画によっては消去(複数消去、全件消去)できない場合があります。
- 以下の場合は、DMP機能を使うことができません。(取扱説明書 117ページ)
 - ・放送番組の視聴中
 - ・USBハードディスクに録画した番組を再生中
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境(機器のメーカーなど)により、本機で視聴することができない場合があります。

スマートフォンなどで本機をリモコン操作する(モバイル連携)

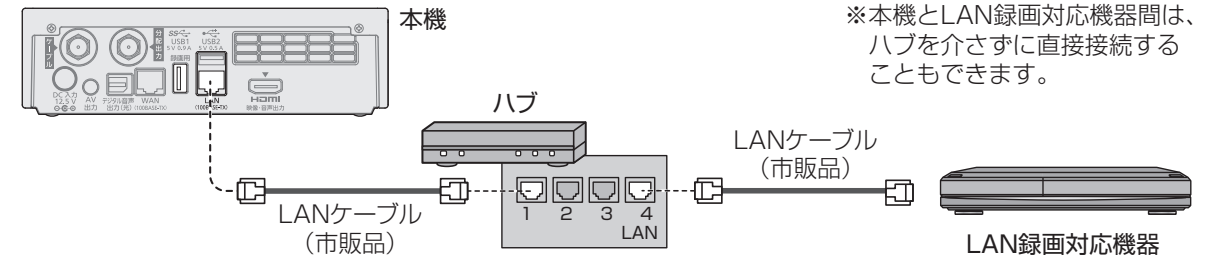
スマートフォンやタブレットの端末に、3つのアプリケーションをインストールすることで、端末から無線LAN接続で本機をリモコン操作できます。(チャンネル選局、カーソル操作 など)

アプリケーション名	ダウンロード先(URL)
Smart TV Remote	http://www.smart-tv-product.jp/shortcut/smart-tv-remote/
Connect Play	http://www.smart-tv-product.jp/shortcut/connect-play/
Smart TV Remote DMC	http://www.smart-tv-product.jp/shortcut/smart-tv-remote-dmc/

お知らせ

- 端末により、プリインストールされている機種とされていない機種があります。また端末のOSバージョンなどによっては動作しない場合があります。

本機で受信した番組をDLNA対応機器に予約録画する(LAN録画)



- 本機とLAN録画対応機器を同じネットワークに接続し、各機器の設定をしてください。対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

■接続後は、必ずネットワーク設定(16~19ページ)を行ってください。

お知らせ

- 本機でLAN録画できるのはJLabs SPEC-020(一般社団法人 日本ケーブルラボ が策定した仕様)に準拠した録画機器です。録画機器の仕様によってはLAN録画できない場合があります。サーバー機器一覧でLAN録画に対応しているかどうかご確認ください。(19ページ)
- LAN録画では、即時録画はできません。
- 同時に複数の番組をLAN録画することはできません。
- USBハードディスクで2番組を録画中は、LAN録画することはできません。
- 本機でLAN録画の操作を行うと、ダビングやDMS配信は中止されます。(同時動作と優先動作について 取扱説明書 117ページ)

お願い

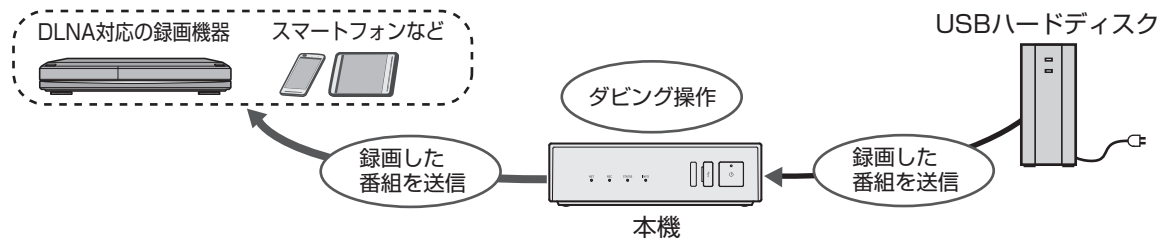
- LAN録画は、有線LANケーブルでのネットワーク接続をご使用ください。無線LAN(Wi-Fi)またはPLCでのネットワーク接続では、LAN録画が正常に実行されない場合があります。
- LAN録画中は、本機や接続されている対応機器の電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。録画されているデータが破損するおそれがあります。
- ハブはLAN端子が100BASE-TX以上のものをご使用ください。
- 「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。

<DLNAなどの用語解説>

- DLNA(Digital Living Network Alliance)は、家庭にあるオーディオ機器、パソコン、家電などをネットワークで接続して利用するために決められた仕様です。
- DMC(デジタルメディアコントローラー)、DMR(デジタルメディアレンダラー)、DMP(デジタルメディアプレイヤー)、DMS(デジタルメディアサーバー)は、DLNAで決められた機能の一つです。
 - ・DMC : DMSに保存されている録画番組や動画(ビデオ)を検索し、DMRへ配信させます。
 - ・DMR : DMCからの操作で、DMSから配信された録画番組や動画(ビデオ)を再生します。
 - ・DMP : DMSに保存されている録画番組や動画(ビデオ)を検索し、再生します。
 - ・DMS : 録画番組、動画(ビデオ)や受信した番組をDMRやDMPに配信します。本機ではDMS機能を「サーバー(DMS)機能」と表示します。

ネットワーク機器を使う

本機でUSBハードディスクに録画した番組を他の録画機器にダビングする



USBハードディスクに録画した番組をホームネットワークに接続している録画機器(番組持ち出しに対応したモバイル機器を含む)へダビング(ムーブ/コピー)できます。

ダビングするための準備

- ①USBハードディスクを接続・設定する。
 - ②録画機器を接続する。(☞ 右記)
 - ③ネットワークを設定する。(本機の設定は、「ネットワークの設定」☞ 16～19ページ)
※録画機器側の設定は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
 - ④録画機器がダビングに対応しているかどうかを確認し、「ダビングモード」を設定する。(☞ 19ページ)
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境(機器のメーカーなど)によっては、ダビングできない場合があります。

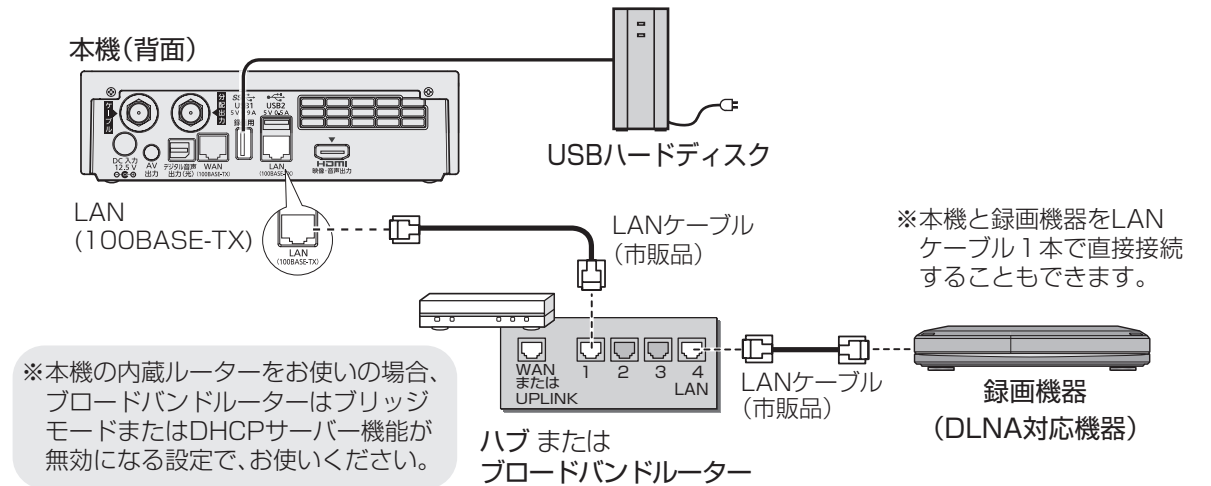
お知らせ

- 本機でダビングできるのはJLabs SPEC-020(一般社団法人 日本ケーブルラボ が策定した仕様)に準拠した録画機器です。録画機器の仕様によってはダビングできない場合もあります。サーバー機器一覧でダビングに対応しているかどうかご確認ください。(☞ 19ページ)
- 複数のUSBハードディスクを接続している場合に、USBハードディスクからUSBハードディスクへ番組を移動することはできません。
- 録画機器側に保存されている番組をUSBハードディスクへ移動することはできません。
- 以下の場合は、ダビング機能を使うことができません。
 - ・USBハードディスクに録画した番組を再生中
 - ・LAN録画中
 - ・LAN再生中(DMP、DMR)
 - ・ダビング中
- ダビング中にUSBハードディスクやLAN録画機器の動作状況が変わると、ダビングが停止する場合があります。(同時動作と優先動作について ☞ 取扱説明書 117ページ)

お願い

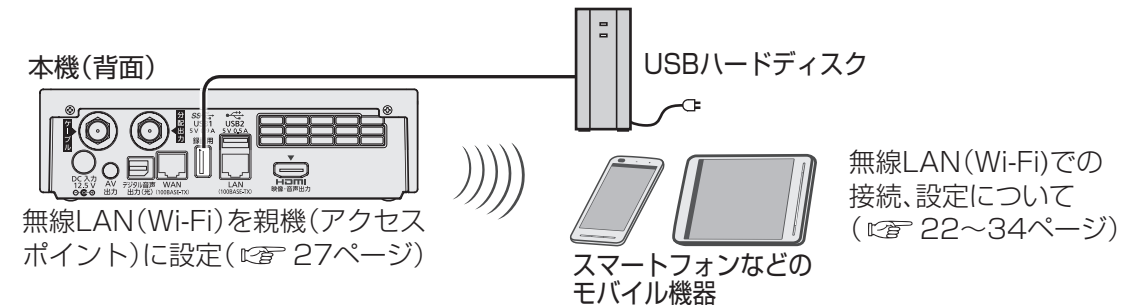
- ダビング中は、本機や接続されている対応機器の電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。録画されているデータが破損するおそれがあります。
- ブロードバンドルーターやハブはLAN端子が100BASE-TX以上のものをご使用ください。
- 「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。

LANケーブルでのダビング接続例



※本機の内蔵ルーターをお使いの場合、ブロードバンドルーターはブリッジモードまたはDHCPサーバー機能が無効になる設定で、お使いください。

無線LAN(Wi-Fi)でのダビング接続例



お知らせ

- 本機と録画機器は同じネットワーク(同一のセグメント)内に接続されている必要があります。
- ブロードバンドルーターのDHCPサーバー機能は「有効」(IPアドレスを自動で割り当てる)に設定されることをおすすめいたします。(通常は「有効」に設定されています。「無効」にした場合は、固定IPアドレスの設定が必要となります。)
- ブロードバンドルーターのDHCPサーバー機能が「有効」の場合、ブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、スイッチングハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
- ブロードバンドルーターにつないだ録画機器へのダビングは、ネットワークのトラフィック(ネットワーク上の情報量)などにより正常に行えない場合があります。
- 無線LAN(Wi-Fi)で接続する場合は、SSID3(通信周波数帯5 GHz)、SSIDの動作モード11nを推奨します。(本機の場合は802.11a/nに設定してください。)(☞ 30ページ) 接続する対象機器が802.11a/nに対応していることを確認してください。
- 無線LAN(Wi-Fi)またはPLCを使った場合は、ダビングが正常に行えない場合があります。

LANの設定

- 設定について不明な点がございましたら、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダーにご相談ください。

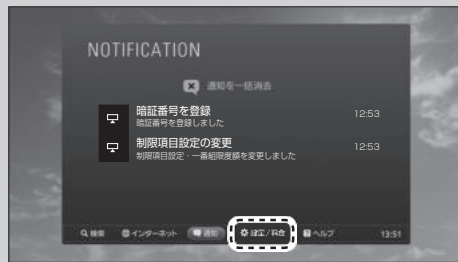
設定の前に手順⑥で「接続テスト」を行い、正しく接続できるかどうかご確認ください。
エラーメッセージが表示された場合は、内容を確認して接続や設定をご確認ください。

ネットワーク画面の出しかた

- 1 ホーム画面で **X** を押す
● ホーム(サブ)画面が表示されます。



- 2 ◀▶ でメニューの「設定/料金」を選び、**決定** を押す

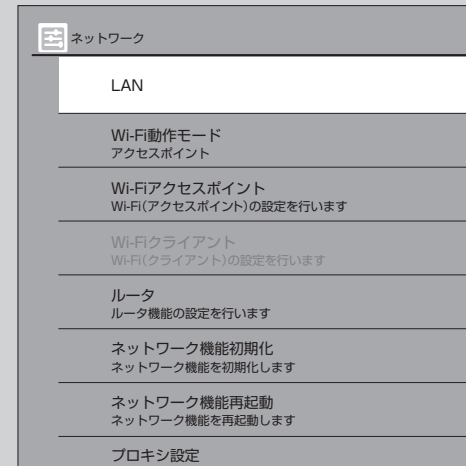
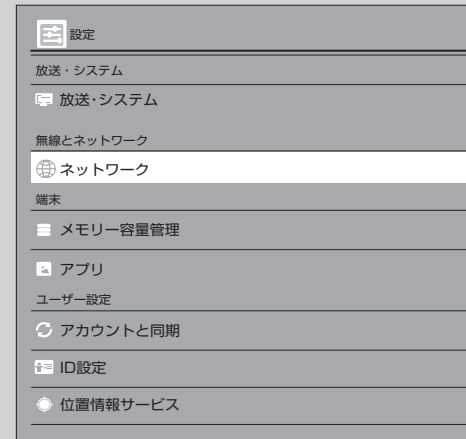


- 3 ▲▼◀▶ で「本体設定」を選び、**決定** を押す
● 本体設定メニュー画面が表示されます。



- 4 ▲▼で「ネットワーク」を選び、**決定** を押す

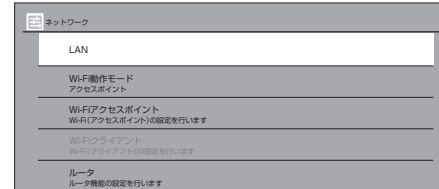
- 「ネットワーク」画面が表示されます。
- 設定が有効でない項目は、灰色表示になります。



LANの設定

本機をネットワークに接続するための設定です。

- 5 ▲▼で「LAN」を選び、**決定** を押す



- 6 ▲▼で「IPアドレス取得方法」を選び、**決定** を押す



- 固定** IPアドレスなどを手動で入力する
DHCP IPアドレスなどを自動で取得する

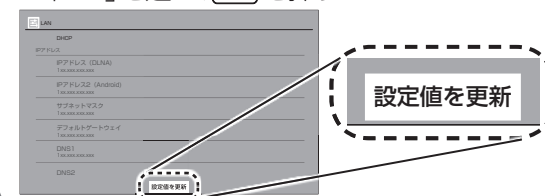
ブロードバンドルーターやルーター機能付きモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIPアドレス自動取得が使えます。それぞれの機器の説明書をご覧ください。

- 7 ▲▼で「固定」または「DHCP」を選び、**決定** を押す

- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

設定値を更新

- ▲▼で「設定値を更新」を選び、**決定** を押す
● 確認画面が表示された場合は、◀▶で「OK」を選び、**決定** を押す



手順⑦で「固定」を選び、IPアドレスなどを手動で入力する場合

- ① ▲▼で「固定」を選び、**決定** を押す
- ② 数値を入力する
範囲外の数値を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。
● 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

IPアドレス1(DLNA)

DLNA対応機器との通信に使うIPアドレスです。

IPアドレス2(Android)

Android機能を使う際のIPアドレスです。

IPアドレス3(Router)

本機のネットワーク機能が使用するIPアドレスです。設定状態によっては不要の場合や表示されない場合があります。

サブネットマスク

ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。(例：255.255.255.0)

デフォルトゲートウェイ

インターネットへのアクセスで経由すべき機器のIPアドレスです。通常はブロードバンドルーターのIPアドレスを言います。(例：192.168.0.1)

DNS1

入力されたURLなどから、接続先のIPアドレスを検索するデータベースのアドレスです。(例：192.168.0.1)

DNS2

DNS1で接続先が見つからない場合の予備です。

IPアドレスについて

ネットワーク上の機器を識別するために指定する識別用の番号です。本機では、DLNA対応機器との通信用のIPアドレスと、Android機能を使う場合のIPアドレスと、ルーター機能を持っている機器がネットワーク内に2台以上ある場合などに設定するIPアドレスを個別に設定できます。(例：192.168.0.1)

ネットワーク関連設定

- 設定について不明な点がございましたら、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダ経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のプロバイダにご相談ください。

ネットワーク関連設定画面の出しかた

1 ホーム画面で **メニュー** を押す

- ホーム(サブ)画面が表示されます。



2 ◀▶でメニューの「設定/料金」を選び、**決定** を押す

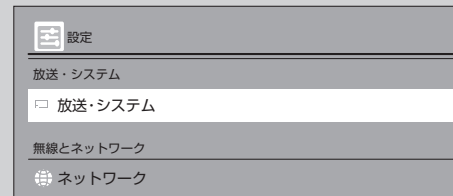


3 ▲▼◀▶で「本体設定」を選び、**決定** を押す

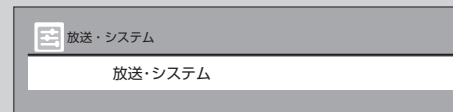
- 本体設定メニュー画面が表示されます。



4 ▲▼で「放送・システム」を選び、**決定** を押す

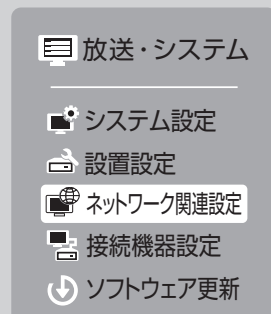


5 ▲▼で「放送・システム」を選び、**決定** を押す



6 ▲▼で「ネットワーク関連設定」を選び、**決定** を押す

- 「ネットワーク関連設定」画面が表示されます。



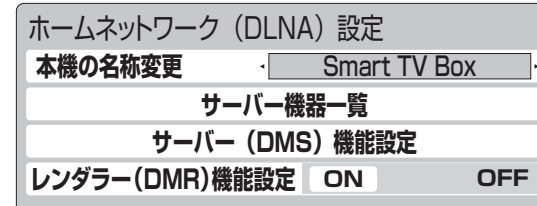
- ネットワーク関連設定
 - ホームネットワーク (DLNA) 設定
 - 宅外リモート接続設定
 - ケーブルモデム設定
 - テレビ用ブラウザ設定

- 設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

ホームネットワーク(DLNA)の設定

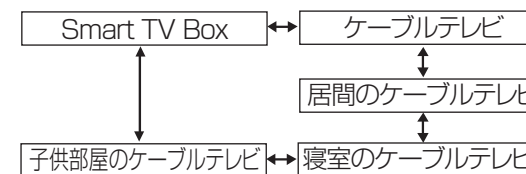
ホームネットワーク(DLNA)機能を使用するための設定です。

7 ▲▼で「ホームネットワーク(DLNA)設定」を選び、**決定** を押す



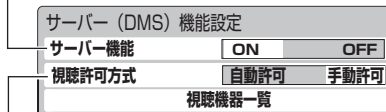
本機の名称変更

本機がサーバーとして動作時の機器名を変えます。



サーバー(DMS)機能設定

DLNA対応機器で、本機に接続されたUSBハードディスクの録画番組を見るときは「ON」に設定



自動許可 視聴機器が接続されたらすべて「許可」されます。

手動許可 視聴を「許可」する機器を「視聴機器一覧」で、選びます。

- 接続機器の機器名が表示されない場合があります。お使いの接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- 「視聴機器一覧」では、20件までの視聴機器(MACアドレス)が一覧表示されます。

レンダラー(DMR)機能設定

スマートフォンなどからの操作で、他の機器に保存された動画などを見るときは「ON」に設定

サーバー機器一覧

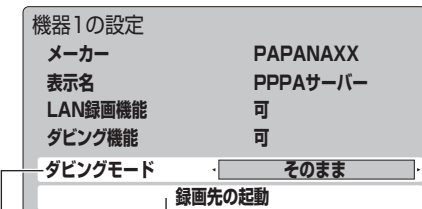
ネットワークに接続されているDLNA対応機器(サーバー)の一覧を表示します。



- 録画: 可 LAN録画が可能な機器
 不可 LAN録画に非対応の機器
 - ダビング: 可 ダビングが可能な機器
 不可 ダビングに非対応の機器
 - ダビングモード:
 - ダビングに非対応の機器
 - そのまま 通常のダビングに対応した機器
 - サイズ優先 番組持ち出しに対応した
 - 画質優先 モバイル機器
- ※モバイル機器によっては、モードを変えてもサイズと画質が同じになる場合があります。(詳しくは 取扱説明書 102ページ)

機器の設定一覧

サーバー機器一覧で機器を選び、**決定** を押すと、機器の設定一覧が表示されます。



サーバー機器を起動させたいとき
※機器によっては起動できない場合があります。その場合は、直接起動させてください。
機器により設定できない場合があります。

機器の詳細情報

サーバー機器一覧で機器を選び、**決定** を押すと、機器の詳細情報が表示されます。

登録の解除

サーバー機器一覧で機器を選び、**決定** を押すと、登録を解除します。

ネットワーク関連設定

ネットワーク関連設定画面の出しかた

- 1 ホーム画面で **[X-メニュー]** を押す
●ホーム(サブ)画面が表示されます。
- 2 **◀▶** でメニューの「設定/料金」を選び、**[決定]** を押す
- 3 **▲▼◀▶** で「本体設定」を選び、**[決定]** を押す
●本体設定メニュー画面が表示されます。
- 4 **▲▼** で「放送・システム」を選び、**[決定]** を押す
- 5 **▲▼** で「放送・システム」を選び、**[決定]** を押す
- 6 **▲▼** で「ネットワーク関連設定」を選び、**[決定]** を押す
●「ネットワーク関連設定」画面が表示されます。

放送・システム

システム設定

設置設定

ネットワーク関連設定

接続機器設定

ソフトウェア更新

ネットワーク関連設定
ホームネットワーク (DLNA) 設定
宅外リモート接続設定
ケーブルモデム設定
テレビ用ブラウザ設定

- ホームネットワーク(DLNA)設定については19ページをご覧ください。
- 設定が有効でない項目は、灰色表示になります。

お知らせ

- 宅外リモート接続機能をご使用時の、個人情報の取り扱いや免責事項などについては、取扱説明書104ページをご確認ください。

宅外リモート接続設定

宅外の機器から本機の録画予約などを操作できます。

宅外リモート接続機能をご利用になるには、宅外リモート接続サービスへの加入が必要です。

- 7 **▲▼** で「宅外リモート接続設定」を選び、**[決定]** を押す

- 宅外リモート接続設定画面が表示されます。

宅外リモート接続設定	
リモート接続機能	ON
ネットワークからの番組消去	ON OFF
機器パスワード初期化	
接続状態：接続しています	

リモート接続機能

宅外リモート接続を使用する場合は「ON」に設定します。

ネットワークからの番組消去

ネットワークから録画コンテンツを削除できるようにする場合は「ON」に設定します。

機器パスワード初期化

リモート接続するときのパスワード(4桁の数値)を初期化できます。

- ① **▲▼** で「機器パスワード初期化」を選び、**[決定]** を押す
- ② 「する」を選び、**[決定]** を押す。

接続状態

宅外リモート接続の接続状態を表示します。
※接続できない場合は、ネットワークの接続や設定を確認してください。
(接続テスト 16ページ)

宅外リモート接続サービスについて

- 宅外リモート接続サービスは、各ケーブルテレビ局が提供します。
※サービスを提供していない場合もあります。詳しくはご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。
- 現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスが停止されたり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止・操作メニューの画面の変更などが行われる場合があります。あらかじめご了承ください。

ケーブルモデム設定

ご加入のケーブルテレビ局やプロバイダーから指定があった場合のみ、設定してください。

- 7 **▲▼** で「ケーブルモデム設定」を選び、**[決定]** を押す

- ケーブルモデム設定画面が表示されます。

ケーブルモデム設定	
ケーブルモデム情報表示	
ケーブルモデム電源連動	する しない

ケーブルモデム情報表示

本機内蔵のケーブルモデムの情報が確認できます。

ケーブルモデム情報表示			
MACアドレス	00-00-00-00-00-00		
ソフトウェアバージョン	000000		
ダウンストリーム	周波数	受信レベル	SNR
CH1	000.00MHz	000dBμV	00.0dB
CH2	000.00MHz	000dBμV	00.0dB
CH3	000.00MHz	000dBμV	00.0dB
CH4	000.00MHz	000dBμV	00.0dB
アップストリーム	周波数	送信レベル	
CH1	000.00MHz	000dBμV	
CH2	000.00MHz	000dBμV	
CH3	000.00MHz	000dBμV	
CH4	000.00MHz	000dBμV	

- ケーブルモデム機能を使用しない設定の場合は表示されません。

ケーブルモデム電源連動

本機と内蔵ケーブルモデムの電源「入」「切」を連動させるかどうかの設定を行います。

- する** 本機の電源「切」時、内蔵ケーブルモデムも電源「切」
- しない** 本機の電源「切」時、内蔵ケーブルモデムは電源「入」

お知らせ

- ケーブルモデム電源連動を「しない」に設定すると消費電力は増えますが、電源「入」時にネット接続開始までの時間が短くなります。
- クイックスタート設定を「ON」にしている場合、ケーブルモデム電源連動の設定に関わらず、ケーブルモデムの電源は、常時「入」になります。
- Wi-Fi機器をご使用の場合、ケーブルモデム電源連動を「する」に設定すると、本体電源「切」時にインターネットに接続できなくなりますので、「しない」に設定することをお勧めします。
- ケーブルモデム電源連動は契約内容によっては変更できない場合があります。変更される場合はご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

テレビ用ブラウザ設定

ご加入のケーブルテレビ局やプロバイダーから指定があった場合のみ、設定してください。

- 7 **▲▼** で「テレビ用ブラウザ設定」を選び、**[決定]** を押す

- テレビ用ブラウザ設定画面が表示されます。

テレビ用ブラウザ設定	
プロキシアドレス	
プロキシポート番号	0

プロキシアドレス

ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレスを設定します。
(例: proxy.000.ne.jp)

- ① **▲▼** で「プロキシアドレス」を選び、**[決定]** を押す。
- ② プロキシアドレスを入力し、**[赤]** を押す。

プロキシアドレス設定	
HTTPプロキシアドレスを入力し、 [赤] ボタンを押して「終了」を選択してください。何も入力しないで「終了」を選択すると、設定を削除することができます。	
proxy.000.ne.jp	

- ③ 確認画面で「はい」を選び、**[決定]** を押す。

プロキシポート番号

プロキシアドレスと共に、ご加入のケーブルテレビ局から指定される番号です。
(例: 8000)

- ① **▲▼** で「プロキシポート番号」を選び、**[決定]** を押す。
- ② ポート番号を入力し、**[決定]** を押す。

プロキシポート番号設定	
① ~ ⑩ ボタンを使って、HTTPプロキシサーバーポート番号を入力し、「決定」ボタンを押してください。何も入力しないで「決定」ボタンを押すと、「0」で設定されます。	
0	

- ③ 確認画面で「はい」を選び、**[決定]** を押す。

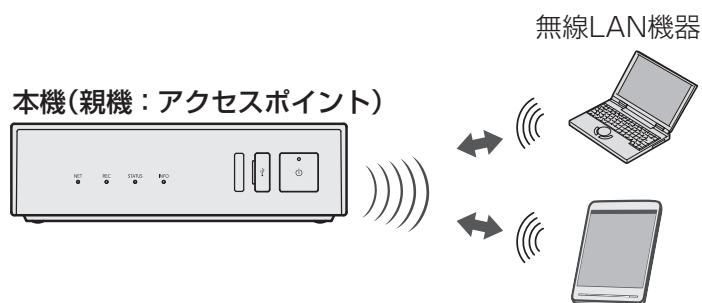
無線LAN(Wi-Fi)の接続

本機は無線LAN(Wi-Fi)を内蔵しています。(2.4 GHzと5 GHzの通信周波数帯を併用)
本機に無線LAN機器を接続したり、本機を別の無線LANネットワークに接続することができます。

アクセスポイント機能とクライアント機能について

アクセスポイント機能 無線LAN機器を本機に接続

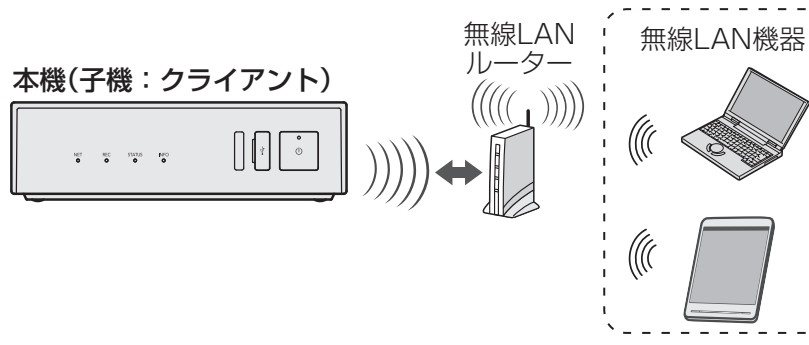
- スマートフォンなどを、本機に接続します。



本機の設定を「アクセスポイント」にしてください。(☞ 27ページ)

クライアント機能 本機を無線LAN対応のルーターに接続

- 本機を別の無線LANネットワークに接続します。



本機の設定を「クライアント」にしてください。(☞ 27ページ)

- 本機を「クライアント」に設定しているときは、本機に無線LAN機器を接続できません。無線LAN機器は無線LAN対応のルーターに接続してください。

お知らせ

- ご契約内容により、接続方法や設定の内容が固定されていることがあります。接続の際は、接続する機器の取扱説明書もよくお読みの上、ご不明な点は、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

本機と無線LAN機器を接続するには、自動と手動の方法があります。

本機と無線LAN機器を接続する

- 自動** : 本機側面(左扉内)の「Wi-Fi 自動設定」ボタンを使って接続(☞ 24、25ページ) 本機と無線LAN機器がお互いに通信して、SSIDや暗号化方式などを自動的に設定し無線LAN(Wi-Fi)で接続できるようになります。
- 手動** : 本機と無線LAN機器を手作業で設定して接続(☞ 26ページ) お使いの環境に合わせて、接続に必要な動作モードや暗号化方式、パスワードなどを個別に設定します。

本機をアクセスポイントとして使う場合の、SSIDと無線LAN(Wi-Fi)設定について

SSID名	通信周波数	ESSID(初期値)	動作モード(初期値)	暗号化方式(初期値)
SSID1	2.4 GHz	SmartBox_●●●●●*	802.11b/g/n	WPA2-AES
SSID2	2.4 GHz	SmartBox_●●●●●*-W	802.11b/g/n	WEP128-OpenSystem
SSID3	5 GHz	SmartBox_●●●●●*-A	802.11a/n	WPA2-AES

- ※●●●●●部分は製品によって異なります。
- ※無線LAN機器を接続する際のパスフレーズ(パスワード)は製品によって異なります。初期値は本体底面の貼付シールや31ページの「パスフレーズの設定」画面でご確認いただけます。

●各SSIDと接続機器(無線LAN機器)の目安について

- SSID1** パソコン、スマートフォンなどのモバイル機器
 - SSID2** 暗号化方式がWEPしか対応していないゲーム機など
 - SSID3** 5 GHzの無線LANに対応しているパソコン、スマートフォンなどのモバイル機器
- ※SSID2をお使いの際はSSID2「インターフェイス」を無効から有効に切り換えてください。(☞ 30ページ)

■無線LAN(Wi-Fi)について

- 本機は良好な電波状態が確保できる場所に設置してください。
- 本機をアクセスポイントとして使用する場合の動作モード(無線方式)は、通信周波数が5 GHzであるSSID3の802.11a/nモードをおすすめします。SSID3の802.11aモードや通信周波数が2.4 GHzのSSID1やSSID2でも通信できますが、大容量のデータを送受信する(インターネットで動画を見るなど)と、映像が途切れたり、接続が切れることがあります。
- 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化方式の設定)を行ってください。(☞ 31ページ)セキュリティ対策を施さず、あるいは無線LAN(Wi-Fi)の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
- 電波の干渉による悪影響を防止するため、次の機器からできるだけ離してください。
 - ・電子レンジ
 - ・他の無線LAN機器
 - ・Bluetooth® 対応機器
 - ・その他2.4 GHz、5 GHzの電波を使用する機器(デジタルコードレス電話、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など)
- 無線LAN(Wi-Fi)を使用しない場合は「Wi-Fi動作モード」(☞ 27ページ)を「OFF」にすることをおすすめします。

無線LAN(Wi-Fi)の接続

本機側面(左扉内)の「Wi-Fi 自動設定」ボタンで、かんたんに無線LAN機器を接続することができます。

本機と無線LAN機器を接続する(auの“かんたん接続”機能)

au Wi-Fi接続ツールで接続する場合

本機はauの“かんたん接続”機能に対応しています。「au Wi-Fi接続ツール」を利用すれば本機のWi-Fiアクセスポイントに簡単に接続することができます。

●本機の設定を「アクセスポイント」(P.27ページ)に設定してください。

接続したい無線LAN機器側に「au Wi-Fi接続ツール」をダウンロードし、インストールしてください。詳しくは「ホーム画面」→「X」→「設定/料金」→「操作設定」→「Q&A」をご確認ください。

1 無線LAN機器でau Wi-Fi接続ツールを起動し、「初期設定(かんたん接続)」を実行する

【Androidスマートフォンでの例】



アプリメニューから「au Wi-Fi接続ツール」をタップする



「同意する」をタップする
※初回起動のみ



「初期設定(かんたん接続)」をタップする

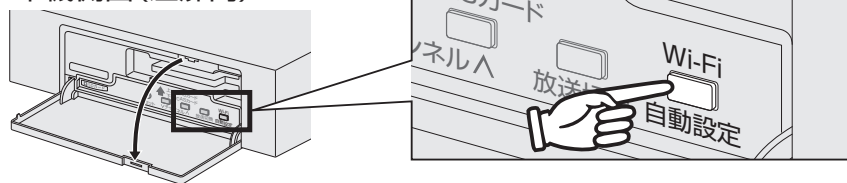


上記の画面が表示されたら手順②へ

2 本機側面(左扉内)の「Wi-Fi 自動設定」ボタンを数秒間押す※1

●ボタンを押すと、本機正面のネットランプ(NET)が橙色点滅します。
※かんたん接続が開始されます。

本機側面(左扉内)



3 設定完了を確認する

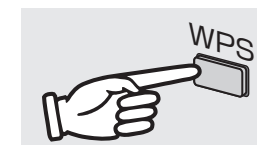
●設定が終了すると、本機正面のネットランプ(NET)が橙色点滅から元の状態に戻ります。
※かんたん接続の完了画面が表示されます。引き続き「接続診断」を行う場合は、画面の指示に従って操作してください。

本機と無線LAN機器を接続する(WPS※2機能)

無線LAN機器のWPSボタンで接続する場合

無線LAN機器のWPSボタンを使って、本機と簡単に接続することができます。

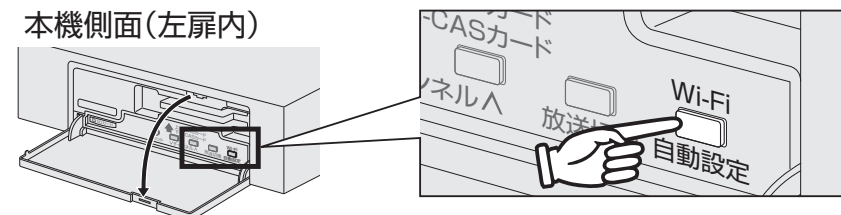
1 無線LAN機器のWPSボタンを押す※3 ※4



2 本機側面(左扉内)の「Wi-Fi 自動設定」ボタンを数秒間押す※1

●ボタンを押すと、本機正面のネットランプ(NET)が橙色点滅します。

本機側面(左扉内)



3 設定完了を確認する

●設定が終了すると、本機正面のネットランプ(NET)が橙色点滅から元の状態に戻ります。

※1 メニュー操作でも「プッシュボタンでの設定」でWPSの登録モードに切り換えられます。
(本機がアクセスポイントの場合 P.34ページ、本機がクライアントの場合 P.35ページ)

※2 「WPS」は「Wi-Fi Protected Setup™」の略です。

※3 接続機器のWPSボタンについては、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
(機器によっては、ソフトウェア上にボタンがある場合があります。)

※4 プッシュボタン方式に対応していない機器は、PINコードを入力することで接続できます。
本機に接続機器のPINコードを入力してください。
(本機がアクセスポイントの場合 P.34ページ、本機がクライアントの場合 P.35ページ)
接続機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

お知らせ

- プッシュボタン方式での接続の対象となるSSIDは「SSID1」(2.4 GHz)と「SSID3」(5 GHz)です。接続機器の通信周波数帯によって、接続されるSSIDが決まります。
- 暗号化方式の設定(P.31ページ)によりWPS機能が使用できない場合があります。
- 本機に接続する機器がWPSに対応していない場合は、設定の際にパスフレーズ(パスワード)の入力が必要になります。(本機のパスフレーズの設定 P.31ページ)
接続機器へのパスフレーズ入力方法などは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

無線LAN(Wi-Fi)の設定

無線LAN(Wi-Fi)で機器を接続するときは
※本機を親機(アクセスポイント)として使用

「Wi-Fi動作モード」が「アクセスポイント」になっていることを確認する

Wi-Fi動作モード →27ページ

インターフェースが「有効」になっていることを確認する

2.4 GHzの無線LAN(Wi-Fi)を使う場合は「2.4GHz無線基本」の「インターフェース」を、5 GHzの無線LAN(Wi-Fi)を使う場合は、「5 GHz無線基本」の「インターフェース」を「有効」にしてください。

インターフェース →28ページ

接続に使うSSIDの「ESSID」を確認する

SSID1：周波数帯 2.4 GHz、パソコンなど用
SSID2：周波数帯 2.4 GHz、一部のゲーム機など用
SSID3：周波数帯 5 GHz、パソコンなど用
接続する機器に合わせて、SSIDを選択してください。「ESSID」は、SSIDの名称の役割を果たします。

ESSID →27ページ

必要に応じてSSID(セキュリティ、動作モードなど)の設定をする

機器接続後に、セキュリティや動作モードなどを変更すると、接続した機器との通信ができなくなる場合があります。

SSIDの設定 →30~32ページ

機器を操作して本機に接続する

プッシュボタン方式やPINコード方式で接続できます。接続する機器の取扱説明書も合わせてご確認ください。

プッシュボタン方式 →34ページ

PINコード方式 →34ページ

必要に応じて設定する

他の機器の通信にノイズが入る場合や、混信して通信速度が遅くなる場合に、本機の設定を変更することができます。

チャンネル/チャンネル幅 →28、29ページ

ネットワーク画面の出しかた

- 1 ホーム画面で **[X-ボタン]** を押す
●ホーム(サブ)画面が表示されます。



- 2 ◀▶でメニューの「設定/料金」を選び、**[決定]** を押す

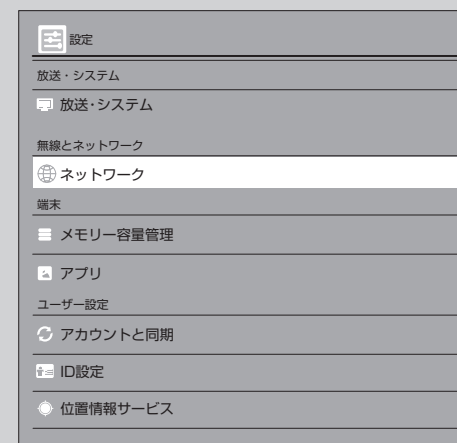


- 3 ▲▼◀▶で「本体設定」を選び、**[決定]** を押す
●本体設定メニュー画面が表示されます。



- 4 ▲▼で「ネットワーク」を選び、**[決定]** を押す

- 「ネットワーク」画面が表示されます。
- 設定が有効でない項目は、灰色表示になります。



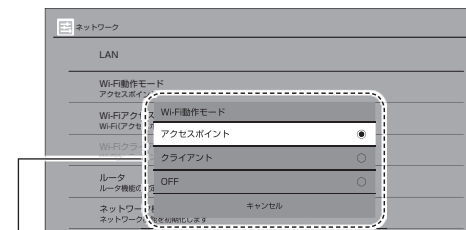
ネットワーク	説明頁
LAN	
Wi-Fi動作モード アクセスポイント	右記
Wi-Fiアクセスポイント Wi-Fi(アクセスポイント)の設定を行います	28~34
Wi-Fiクライアント Wi-Fi(クライアント)の設定を行います	35
ルータ ルータ機能の設定を行います	36~40
ネットワーク機能初期化 ネットワーク機能を初期化します	
ネットワーク機能再起動 ネットワーク機能を再起動します	41
プロキシ設定	

Wi-Fi動作モードの設定

本機の無線LAN(Wi-Fi)を親機(アクセスポイント)として使用するか、子機(クライアント)として使用するかを設定します。

- 5 ▼で「Wi-Fi動作モード」を選び、**[決定]** を押す

- 6 ▲▼で「アクセスポイント」または「クライアント」を選び、**[決定]** を押す



アクセスポイント 本機を親機として使う

クライアント 別の親機に接続する

OFF 無線LAN(Wi-Fi)を使用しない

- 7 メッセージが表示されたら内容を確認し、▶で「OK」を選び、**[決定]** を押す

- アクセスポイントの設定については28ページを、クライアントの設定については35ページを参照してください。

お知らせ

- 「クライアント」に設定する場合は本機のLAN端子に接続したLANケーブルは抜いてから設定してください。LANケーブルを接続したままだと、親機と無線で正常に通信できない場合があります。
- Wi-Fi動作モードを変更すると、全てのネットワークが一時的に遮断されるため、ネットワークを利用するアプリケーションに問題が生じる可能性があります。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により「クライアント」が表示されない場合があります。

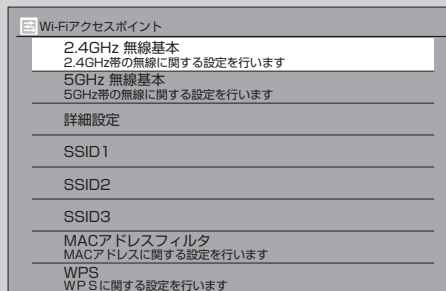
無線LAN(Wi-Fi)の設定

Wi-Fiアクセスポイントの設定

無線LAN(Wi-Fi)の動作モードを「アクセスポイント」に設定している場合に設定できます。

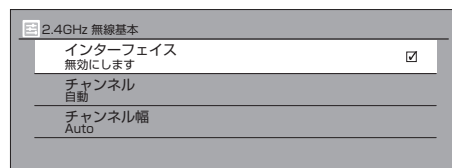
- 1 ホーム画面で **メニュー** を押す
●ホーム(サブ)画面が表示されます。
- 2 ◀▶でメニューの「設定/料金」を選び、**決定** を押す
- 3 ▲▼◀▶で「本体設定」を選び、**決定** を押す
- 4 ▲▼で「ネットワーク」を選び、**決定** を押す

- 5 ▼で「Wi-Fiアクセスポイント」を選び、**決定** を押す



無線LAN(2.4 GHz/5 GHz)の設定

- 6 ▲▼で「2.4GHz無線基本」または「5GHz無線基本」を選び、**決定** を押す



(例: 「2.4 GHz 無線基本」)

無線LANインターフェースの設定

無線LAN(Wi-Fi)の周波数帯域を設定します。

- 7 ▲▼で「インターフェース」を選び、**決定** を押す
● **決定** を押すごとに「有効」「無効」が切り替わります。「有効」になっているときは、項目の右側に マークが表示されます。
有効 2.4 GHzまたは5 GHzの通信周波数帯を使用する
無効 2.4 GHzまたは5 GHzの通信周波数帯を使用しない
● 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

通信チャンネルの設定

無線LAN(Wi-Fi)が混信して、通信速度が遅くなる場合、別のチャンネルに変更すると改善することがあります。

- 7 ▲▼で「チャンネル」を選び、**決定** を押す

- 8 ▲▼でチャンネルを選び、**決定** を押す

自動 通信チャンネルを自動で選択します。(推奨設定)

1ch~13ch (2.4 GHz)
36ch, 40ch, 44ch, 48ch (5 GHz)

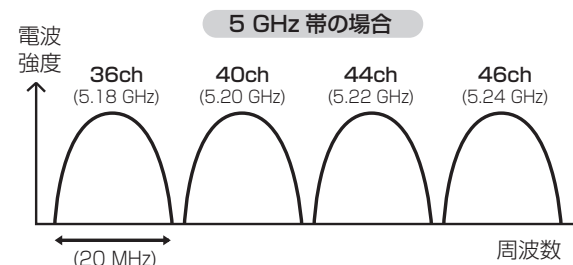
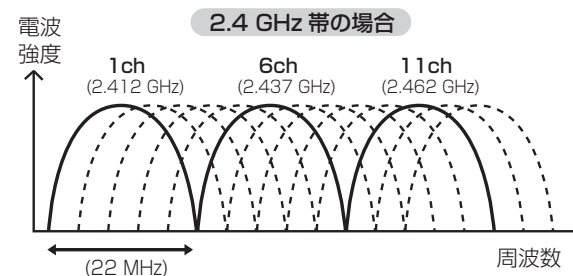
- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

通信チャンネルについて

2.4 GHz帯の場合、チャンネル番号が近くなるほど周波数の重なりが多くなり、混信しやすくなります。他の無線LAN機器が使用中のチャンネルとの間隔を5チャンネル以上あけると電波干渉の影響を受けにくくなります。

5 GHz帯の場合、チャンネル間の重なりがないため各チャンネル間で電波干渉の影響がありません。他の無線LAN機器が使用していないチャンネルに設定することをおすすめします。

Wi-Fiアクセスポイントの設定



通信チャンネル幅の設定

無線LAN(Wi-Fi)の通信速度が遅いとき、通信チャンネルの幅を設定することで、通信速度が改善することがあります。

- 7 ▲▼で「チャンネル幅」を選び、**決定** を押す

- 8 ▲▼でチャンネル幅の数値を選び、**決定** を押す

20 MHz 電波干渉がある場合でも通信速度を抑えて、40 MHzよりも安定した通信ができます。

40 MHz 電波干渉がない場合は、20 MHzよりも高速に通信できます。

Auto (初期値) お使いの環境に合わせて自動で20 MHzと40 MHzを切り換えます。

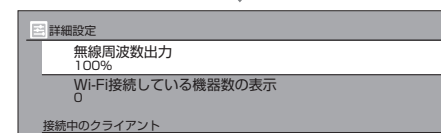
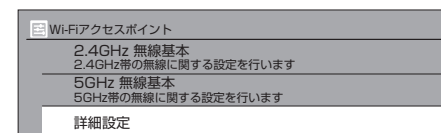
- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

チャンネル幅について

チャンネル幅の数値を大きく設定すると、他の機器との電波干渉がない場合は、通信速度が速くなります。電波干渉がある場合は、混信によって通信速度が遅くなる可能性があります。

無線LAN(Wi-Fi)の詳細設定

- 6 ▲▼で「詳細設定」を選び、**決定** を押す



無線周波数出力の設定 (セキュリティ)

出力を低くすると、通信可能距離が短くなりますが、無線LAN(Wi-Fi)を近距離でしか使えなくなるので、不正に無線LAN(Wi-Fi)が使われる可能性が低くなります。

- 7 ▲▼で「無線周波数出力」を選び、**決定** を押す

- 8 ▲▼で出力の数値を選び、**決定** を押す
● 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

100% 初期値
75%
50%
35%
15%

Wi-Fi接続している機器数の表示

現在本機に無線LAN(Wi-Fi)で接続している機器が表示されます。

接続中のクライアント

現在本機に無線LAN(Wi-Fi)で接続中のクライアントが表示されます。

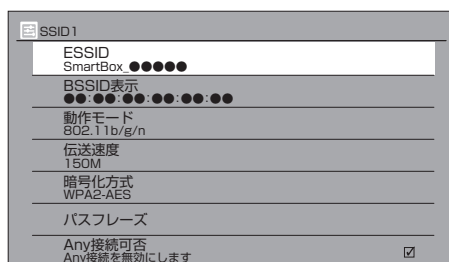
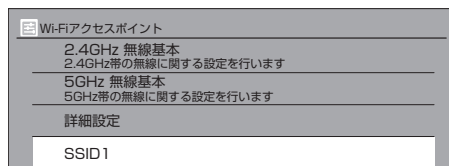
次ページにつづく ▶▶▶

無線LAN(Wi-Fi)の設定

Wi-Fiアクセスポイントの設定

SSIDの詳細設定

6 ▲▼で「SSID1」「SSID2」「SSID3」を選び、**決定**を押す



※SSID2は「インターフェイス」が有効の場合のみ以下の各項目が設定できます。(初期値:無効)

ESSIDの設定

ESSIDとは、SSIDの名称の役割を果たします。半角英数の任意の文字列が設定できます。※セキュリティ上、12文字以上で設定することをおすすめします。(最大32文字)

7 ▲▼で「ESSID」を選び、**決定**を押す

8 文字を入力し、▶で「OK」を選び、**決定**を押す

- 文字を入力する
(取扱説明書 36ページ)
- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

初期値

SSID1: SmartBox_●●●●●●*

SSID2: SmartBox_●●●●●●*-W

SSID3: SmartBox_●●●●●●*-A

※●●●●●●部分は製品によって異なります。

SSIDとは

無線LANアクセスポイントを識別するためのグループ名です。実際の名称は、ESSIDを使用します。本機ではSSID1、SSID2、SSID3の3つのSSIDがあり、SSID1と2は、2.4 GHzの無線周波数帯を、SSID3は5 GHzの無線周波数帯を使用します。SSID1、3はパソコンなどの機器用、SSID2はゲーム機用と、分けて使うことができます。

BSSIDの確認

BSSIDは、「BSSID表示」の項目の下に表示されています。無線LAN(Wi-Fi)上での本機の名称で、変更することはできません。※SSIDごとに設定されています。別のルーターとの接続時に必要なことがあります。

動作モードの設定

無線LAN(Wi-Fi)の通信規格を設定します。接続する無線LAN機器が対応しているモードに設定してください。

7 ▲▼で「動作モード」を選び、**決定**を押す

8 ▲▼で項目を選択し、**決定**を押す

- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

(SSID1/SSID2)

- 802.11b
- 802.11g
- 802.11b/g
- 802.11g/n
- 802.11b/g/n 初期値

(SSID3)

- 802.11a
- 802.11a/n 初期値

伝送速度の確認

通信の速度を確認できます。変更はできません。

Wi-Fiアクセスポイントの設定

暗号化方式の設定

無線LAN(Wi-Fi)で通信する場合の、暗号化方式を設定します。接続する無線LAN機器が対応している方式に設定してください。※暗号化方式が違っていると、接続できません。

7 ▲▼で「暗号化方式」を選び、**決定**を押す

8 ▲▼で項目を選択し、**決定**を押す

- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

- WEP64-OpenSystem
- WEP64-SharedKey
- WEP64-Auto
- WEP128-OpenSystem
- WEP128-SharedKey
- WEP128-Auto

SSID2のみ表示されます。

- WPA-TKIP
- WPA-AES
- WPA2-TKIP
- WPA2-AES*

- WPAMixed-TKIP-TKIP
WPA-TKIPとWPA2-TKIPの2方式に対応
- WPAMixed-TKIP-AES*
WPA-TKIPとWPA2-AESの2方式に対応
- WPAMixed-AES-TKIP
WPA-AESとWPA2-TKIPの2方式に対応
- WPAMixed-AES-AES*
WPA-AESとWPA2-AESの2方式に対応
- なし*

※SSID1、3の暗号化方式が「なし」、「WPA2-AES」、「WPAMixed-TKIP-AES」、「WPAMixed-AES-AES」のときのみ、WPS機能が使用できます。

パスワードの設定(セキュリティ)

パスワードとは、無線LAN接続のパスワードのことです。

※接続する機器によっては「パスワード」や「暗号化キー」と表示される場合があります。

7 ▲▼で「パスワード」を選び、**決定**を押す

8 文字を入力し、▶で「OK」を選び、**決定**を押す

パスワード

abcde●●●

キャンセル OK

- 入力できる文字は半角英数字です。
 - ・WEP64方式: 5文字以下
 - ・WEP128方式: 13文字以下
 - ・WPA/WPA2方式: 8文字以上 (最大63文字)

- 文字を入力する
(取扱説明書 36ページ)
- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

※パスワードの初期値は製品によって異なりますので、通常はそのままでご使用いただけます。安全上、必要な場合のみ変更してご使用ください。(初期値は本体底面の貼付シールにも記載しています。)

暗号化方式について

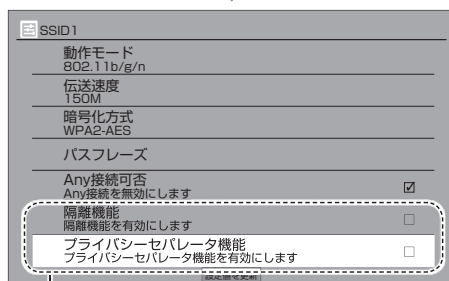
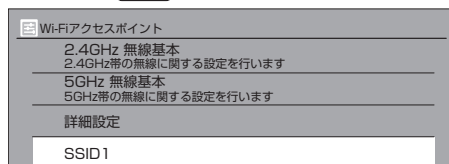
- WPA2方式が一番セキュリティレベルが高く、次にWPA方式となります。接続機器がWPA2方式に対応している場合は、WPA2方式で使用されることをおすすめします。また、接続機器が複数ある場合は、一番セキュリティレベルが低い機器に合わせて設定してください。
- WEP方式はセキュリティレベルが低いため、接続機器がWEP方式しか対応していない場合などに限定して使用することをおすすめします。

無線LAN(Wi-Fi)の設定

Wi-Fiアクセスポイントの設定

SSIDの詳細設定(つづき)

- 6 ▲▼で「SSID1」「SSID2」「SSID3」を選び、**決定**を押す



▼を押すと表示されます。

Any接続の設定(セキュリティ)

機器を接続する際、Any接続を行うかどうか、設定します。

- 7 ▲▼で「Any接続可否」を選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に マークが表示されます。
- 「無効」に設定すると、接続機器からアクセスポイントを検索したときに、本機を隠すことができます。
- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

Any接続とは

接続機器のESSIDを「Any」または空白に設定すると、通信可能なアクセスポイントのうち、最も電波状態が良いアクセスポイントに接続する機能のことです。アクセスポイントのSSIDがわからなくても接続できるため、フリースポットなどで利用されています。ただし、誰でも接続できるため、セキュリティ上では問題が起こりやすくなります。

隔離機能の設定(セキュリティ)

接続した機器を、他のSSIDに接続した機器から見られないようにする機能です。
例:SSID3の「隔離機能」を「有効」にすると、SSID1に接続したパソコンから、SSID3に接続した機器が検索できなくなります。

- 7 ▲▼で「隔離機能」を選び、**決定**を押す

- **決定**を押すごとに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に マークが表示されます。
- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

プライバシーセパレータ機能の設定(セキュリティ)

同じSSIDに接続した機器間の通信を禁止する機能です。

例:SSID3の「プライバシーセパレータ機能」を「有効」にすると、SSID3に接続したパソコンから、同じSSID3に接続した機器が検索できなくなります。

- 7 ▲▼で「プライバシーセパレータ機能」を選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に マークが表示されます。
- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

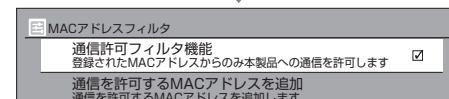
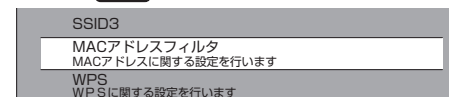
お知らせ

- 隔離機能やプライバシーセパレータ機能を有効にする場合、設定によってはDLNA接続機器などが正しく動作しない場合がありますので、ご注意ください。

Wi-Fiアクセスポイントの設定

MACアドレスフィルタの設定

- 6 ▲▼で「MACアドレスフィルタ」を選び、**決定**を押す



MACアドレスとは

Media Access Control の略で、各機器に割り振られた固有のアドレスです。このMACアドレスを元にして、データを送受信する相手を識別します。

通信許可フィルタの設定(セキュリティ)

指定したLAN側のMACアドレスを持つ機器でのみ、本機と通信できるようになります。

- 7 ▲▼で「通信許可フィルタ機能」を選び、**決定**を押す

- 8 ▶で「OK」を選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に マークが表示されます。

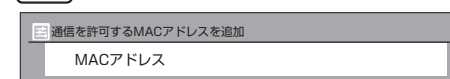
通信を許可するMACアドレスの設定(セキュリティ)

「通信許可フィルタ機能」が「有効」の場合に設定できます。(最大20件まで)

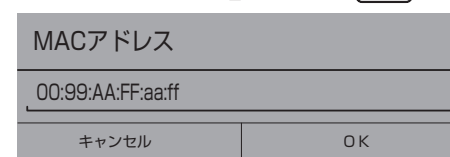
- 7 ▲▼で「通信を許可するMACアドレスを追加」を選び、**決定**を押す



- 8 ▲▼で「MACアドレス」を選び、**決定**を押す



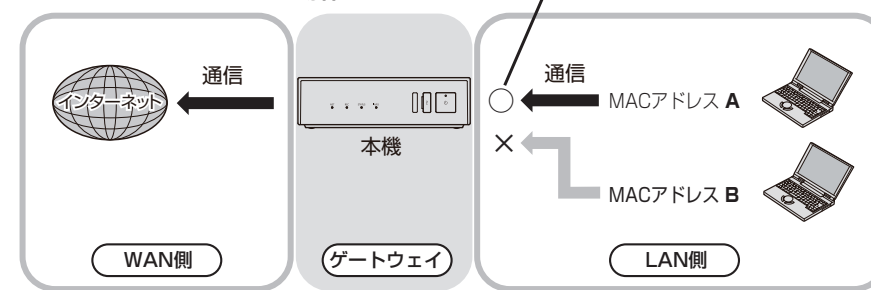
- 9 許可する機器のMACアドレスを入力し、▶で「OK」を選び、**決定**を押す



2文字ごとに「:」コロンで区切ってください。

- 文字を入力する(半角英数字)
(☞取扱説明書 36ページ)
- 追加すると「登録済み通信許可MACアドレス」の項目の下に表示されます。
- 削除する場合は、MACアドレスを選んで決定すると、確認パネルを表示しますので画面の表示に従って操作してください。

MACアドレスフィルタ動作



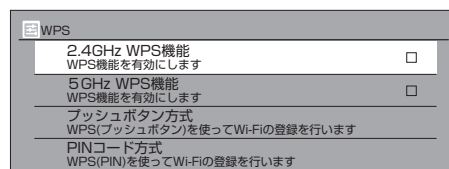
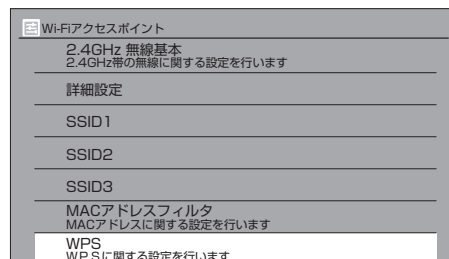
お知らせ

- 通信許可フィルタを有効に設定した場合、モバイル連携機能をお使いの際は、接続するスマートフォンなどのMACアドレスを通信許可フィルタに追加してご使用ください。

Wi-Fiアクセスポイントの設定

WPSの設定

- 6 ▲▼で「WPS」を選び、**決定**を押す



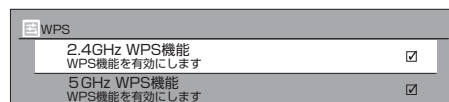
WPS(Wi-Fi Protected Setup™)とは

無線LAN機器間の暗号化設定をかたんにできるようにするための規格です。プッシュボタン方式とPINコード方式があり、本機は両方の方式に対応しています。

WPS方式の設定

WPS機能を使うかどうかの設定をします。

- 7 ▲▼で「2.4GHz WPS機能」「5GHz WPS機能」を選び、**決定**を押す

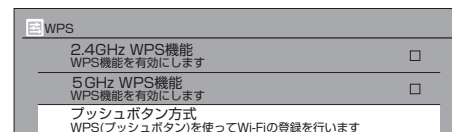


- **決定**を押すたびに「有効」「無効」が切り替わります。「有効」になっているときは、項目の右側に**決定**マークが表示されます。
- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定**を押すと有効になります。

プッシュボタンでの設定

- 7 ▲▼で「プッシュボタン方式」を選び、**決定**を押す

- 本機がWPSの登録モードに切り換わります。(本機側面(左扉内)の「Wi-Fi 自動設定」ボタンを押したときと同じ状態です。)



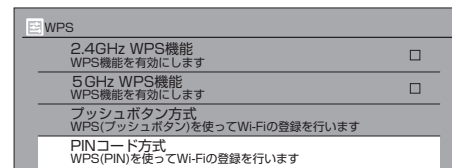
- 8 接続する機器のプッシュボタンを押す



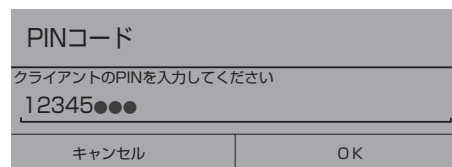
- 接続機器のプッシュボタンについては、機器の取扱説明書をご確認ください。
- 登録が終了すると、画面に表示が出ます。

PINコードでの設定

- 7 ▲▼で「PINコード方式」を選び、**決定**を押す



- 8 接続する機器のPINコードを入力し、**決定**を押す



- PINコードは接続機器によって決まっていますので、あらかじめ接続機器の取扱説明書などでご確認ください。
- 文字入力について (参考 取扱説明書 36ページ)
- WPS設定が終了すると、本体正面のネットランプ(NET)が橙色点滅から元の状態に戻ります。

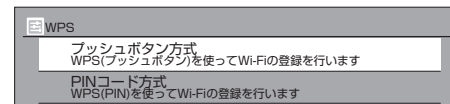
Wi-Fiクライアントの設定

無線LAN(Wi-Fi)の動作モードを「クライアント」に設定(参考 27ページ)している場合に設定できます

- 1 ホーム画面で **メニュー** を押す
● ホーム(サブ)画面が表示されます。
- 2 ◀▶でメニューの「設定/料金」を選び、**決定**を押す
- 3 ▲▼◀▶で「本体設定」を選び、**決定**を押す
- 4 ▲▼で「ネットワーク」を選び、**決定**を押す

Wi-Fi簡単登録

- 6 ▲▼で「WPS」を選び、**決定**を押す



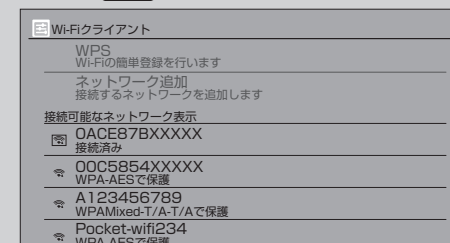
プッシュボタンでの登録

- 7 ▲▼で「プッシュボタン方式」を選び、**決定**を押す
● 本機がWPSの登録モードに切り換わります。(本機側面(左扉内)の「Wi-Fi 自動設定」ボタンを押したときと同じ状態です。)
- 8 接続したいアクセスポイントのプッシュボタンを押す
● アクセスポイントのプッシュボタンについては、アクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。
- 登録が終了すると、画面に表示が出ます。

PINコードでの登録

- 7 ▲▼で「PINコード方式」を選び、**決定**を押す
- 8 表示されているPINコードを接続したいアクセスポイントに入力する
● 接続機器へのPINコードの入力方法は、接続機器の取扱説明書をご確認ください。
- 9 ▶で「OK」を選び、**決定**を押す
● WPS設定が終了すると、本体正面のネットランプ(NET)が橙色点滅から元の状態に戻ります。

- 5 ▼で「Wi-Fiクライアント」を選び、**決定**を押す



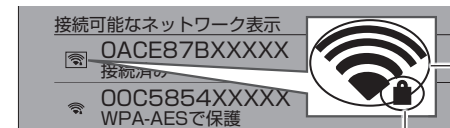
ネットワークを追加する

- 6 ▲▼で「ネットワーク追加」を選び、**決定**を押す
- 接続するアクセスポイントのSSID、暗号化方式、パスフレーズを入力してください。
 - ※「パスフレーズ」は、機器によっては「パスワード」や「暗号化キー」と表示されていることがあります。

接続可能なネットワークに接続する

「接続可能なネットワーク表示」の下には、本機でスキャンすることができた無線LAN(Wi-Fi)のネットワークが表示されています。

- 6 ▲▼で接続したいネットワークを選び、**決定**を押す



鍵のマークがついているネットワークは、セキュリティがかかっているネットワークです。

電波の強度を表示します (大きくなるほど電波の強度が強いことを示します)

- 7 パスワードを入力し、▶で「接続」を選び、**決定**を押す
- 入力するパスワードについては、接続する機器の取扱説明書をご確認ください。(ネットワークに設定されている暗号化方式によって、入力するパスワードが異なりますので、ご注意ください。)

ルーターの設定

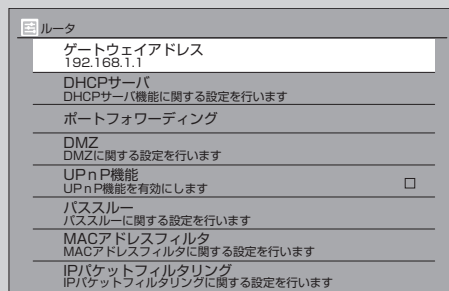
ルーターの設定

ルーター機能を設定します。

(ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によっては設定できない場合があります。)

- 1 ホーム画面で **[Xメニュー]** を押す
●ホーム(サブ)画面が表示されます。
- 2 **◀▶** でメニューの「設定/料金」を選び、**[決定]** を押す
- 3 **▲▼◀▶** で「本体設定」を選び、**[決定]** を押す
- 4 **▲▼** で「ネットワーク」を選び、**[決定]** を押す

- 5 **▼** で「ルータ」を選び、**[決定]** を押す



ゲートウェイアドレスの設定

内蔵ルーターのIPアドレスを変更できます。
(初期値: 192.168.1.1)

- 6 **▲▼** で「ゲートウェイアドレス」を選び、**[決定]** を押す

- 7 ゲートウェイアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する



- 文字を入力する
(☞ 取扱説明書 36ページ)
- 範囲外の数値を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。

DHCPサーバの設定

LAN側(有線LANおよび無線LANのプライマリネットワーク)のDHCPサーバ機能(IPアドレスの自動払い出し)の開始アドレスと終了アドレスを指定する設定です。

- 6 **▲▼** で「DHCPサーバ」を選び、**[決定]** を押す

- 7 **▲▼** で「払い出しIPプールの開始値」、「払い出しIPプールの終了値」をそれぞれ選び、**[決定]** を押す

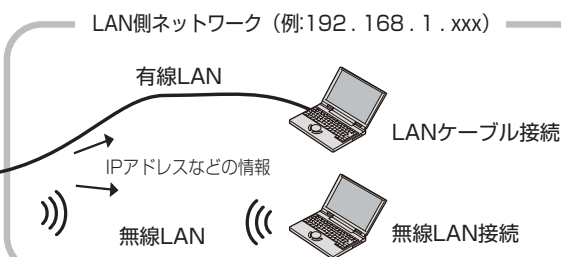
- 8 画面の指示に従ってそれぞれ入力する

- 文字を入力する
(☞ 取扱説明書 36ページ)
- 範囲外の数値を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。
- 設定は、「設定値を更新」を選び **[決定]** を押すと有効になります。

DHCPサーバの設定について

本製品のIPアドレスの初期値は、192.168.1.1です。

例えば、開始アドレスを10からにすることにより、2~9を固定アドレスで割り振るといった使い方が可能です。



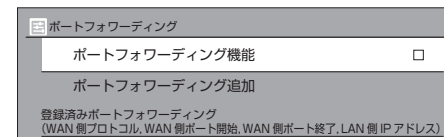
ポートフォワーディングの対象となるLAN側の機器には、固定IPアドレスを割り振ってご使用ください。

ルーターの設定

ポートフォワーディングの設定

WAN側からの 特定のポート番号(LAN側に設置されたWebサーバー、FTPサーバー、メールサーバーなど)宛ての通信を、LAN側にフォワード(転送)する設定です。

- 6 **▲▼** で「ポートフォワーディング」を選び、**[決定]** を押す



ポートフォワーディング機能の設定

- 7 **▲▼** で「ポートフォワーディング機能」を選び、**[決定]** を押す

- 8 **▶** で「OK」を選び、**[決定]** を押す

- **[決定]** を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に マークが表示されます。

ポートフォワーディング追加の設定

「ポートフォワーディング機能」が「有効」の場合に設定できます。(最大20件まで)

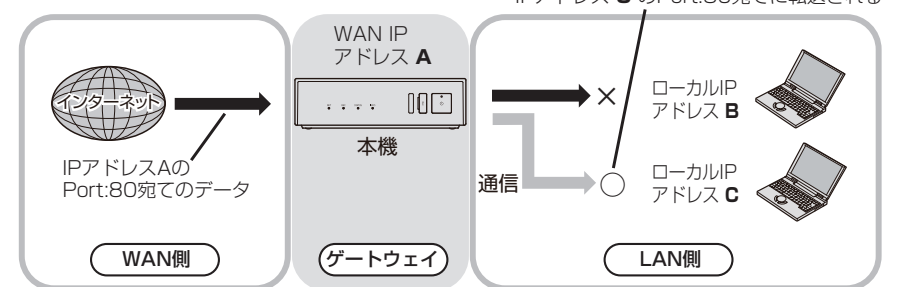
- 7 **▲▼** で「ポートフォワーディング追加」を選び、**[決定]** を押す

- 8 **▲▼** で「WAN側プロトコル」、「WAN側ポート開始」、「WAN側ポート終了」、「LAN側IPアドレス」をそれぞれ選び、**[決定]** を押す

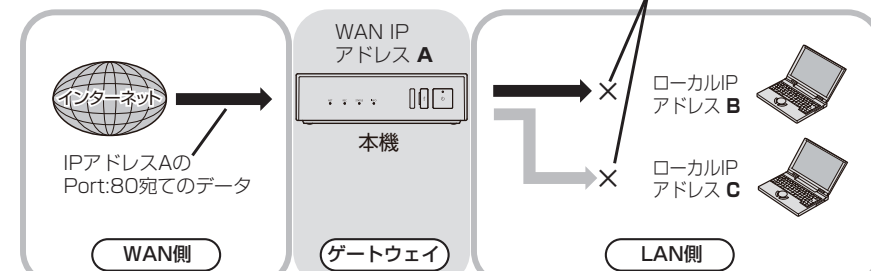
- 9 画面の指示に従ってそれぞれ入力する

- WAN側プロトコル
「TCP」、「UDP」、「Both」
- WAN側ポート開始
1~65535の数値
- WAN側ポート終了
1~65535の数値
- LAN側IPアドレス
●文字を入力する
(☞ 取扱説明書 36ページ)
- 範囲外の数値を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。

ポートフォワードした場合



ポートフォワードしない場合



ルーターの設定

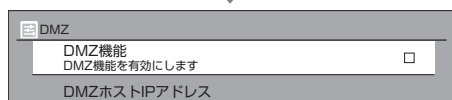
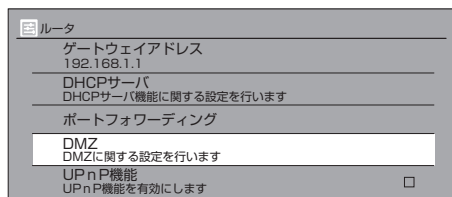
DMZ機能の対象となるLAN側の機器には、固定IPアドレスを割り振ってご使用ください。

ルーターの設定

DMZ機能の設定

WAN側からの全ての通信を、特定の1台のパソコンへ転送する機能です。DMZ機能を「有効」にするとルーターが把握していないWAN側からの通信は、DMZホストとして指定したIPアドレスのパソコンへ、自動的に転送されるようになります。

6 ▲▼で「DMZ」を選び、**決定**を押す



DMZ機能の設定

7 ▲▼で「DMZ機能」を選び、**決定**を押す

8 ▶で「OK」を選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に☑マークが表示されます。
- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定**を押すと有効になります。

DMZホストIPアドレスの設定

7 ▲▼で「DMZホストIPアドレス」を選び、**決定**を押す

8 DMZホストIPアドレスを入力し、▶で「OK」を選び、**決定**を押す

- 文字を入力する
(取扱説明書 36ページ)
- 範囲外の数値を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。

UPnP機能の設定

UPnP機能とは対応したネットワーク機器どうしが相互に自動認識するための機能です。有効にすると、UPnP機能を利用した音声・映像チャット、ゲームなどの通信が可能になります。

6 ▲▼で「UPnP機能」を選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に☑マークが表示されます。

お知らせ

- UPnP機能を利用するには、接続する機器側でもUPnP機能の設定が必要です。

パススルーの設定

「PPTP」や「IPSec」はインターネットで暗号化通信を行うための規格で、VPN(仮想プライベートネットワーク)などで利用されます。この通信を通過させるかどうかの設定です。(初期値:有効)

6 ▲▼で「パススルー」を選び、**決定**を押す

7 ▲▼で「PPTPパススルー機能」、「IPSecパススルー機能」をそれぞれ選び、**決定**を押す

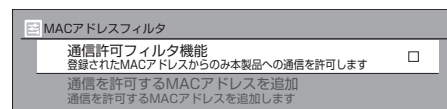
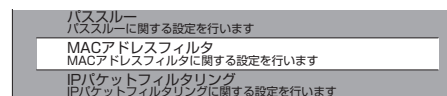
- **決定**を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に☑マークが表示されます。
- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定**を押すと有効になります。

ルーターの設定

MACアドレスフィルタの設定

指定したLAN側のMACアドレスを持つ機器でのみ、本機と通信できるようになります。(それ以外はブロックします)

6 ▲▼で「MACアドレスフィルタ」を選び、**決定**を押す



通信許可フィルタ機能の設定

7 ▲▼で「通信許可フィルタ機能」を選び、**決定**を押す

8 ▶で「OK」を選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側に☑マークが表示されます。

通信を許可するMACアドレスの設定

「通信許可フィルタ機能」が「有効」の場合に設定できます。(最大20件まで)

7 ▲▼で「通信を許可するMACアドレスを追加」を選び、**決定**を押す

8 ▲▼で「MACアドレス」を選び、**決定**を押す

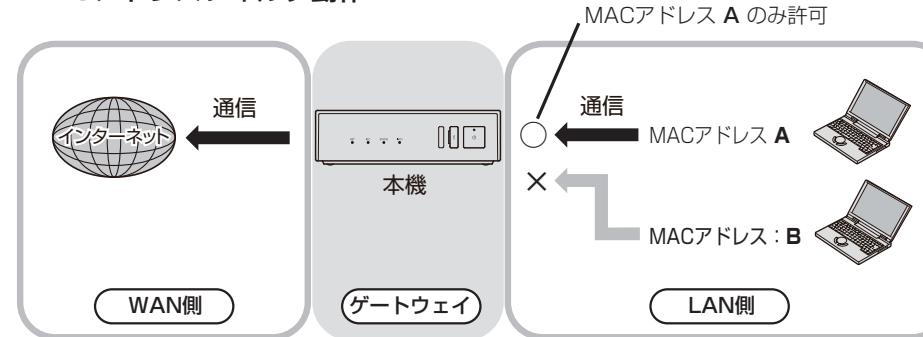
9 許可する機器のMACアドレスを入力し、▶で「OK」を選び、**決定**を押す



2文字ごとに「:」コロンで区切ってください。

- 文字を入力する(半角英数字)
(取扱説明書 36ページ)
- 追加すると「登録済み通信許可MACアドレス」の項目の下に表示されます。
- 削除する場合は、MACアドレスを選んで決定すると、確認パネルを表示しますので画面の表示に従って操作してください。

MACアドレスフィルタ動作



お知らせ

- 通信許可フィルタを有効に設定した場合、モバイル連携機能をお使いの際は、接続するスマートフォンなどのMACアドレスを通信許可フィルタに追加してご使用ください。

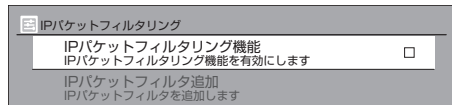
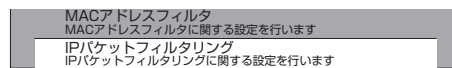
ルーターの設定

ルーターの設定

IPパケットフィルタリングの設定

WAN側からの不正アクセスおよびWAN側への意図しない情報の漏洩を防ぐための機能です。設定した条件に一致したパケットの通信を許可するかブロックするか設定します。(LAN側の機器間の通信には影響しません。)

- ▲▼で「IPパケットフィルタリング」を選び、**決定**を押す



IPパケットフィルタリング機能の設定

- ▲▼で「IPパケットフィルタリング機能」を選び、**決定**を押す

- ▶で「OK」を選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側にマークが表示されます。

お知らせ

- IPパケットフィルタリング機能を有効にする場合、フィルタの対象となるLAN側の機器には、固定IPアドレスを割り振ってご使用ください。
- IPパケットフィルタリング機能を有効にすると、宅外リモート機能や他機器との通信を利用するアプリなどで、機能が制限されたり正常に動作しなくなる場合があります。

IPパケットフィルタ追加の設定

「IPパケットフィルタリング機能」が「有効」の場合に設定できます。(最大20件まで)

- ▲▼で「IPパケットフィルタ追加」を選び、**決定**を押す

- ▲▼で「パケットフィルタの種別」、「送信元IPアドレス」、「宛先IPアドレス」、「開始ポート番号」、「終了ポート番号」、「プロトコル」、「通信の方向」をそれぞれ選び、**決定**を押す

- 画面の指示に従ってそれぞれ入力する

■パケットフィルタの種別
「許可」、「拒否」

■送信元IPアドレス

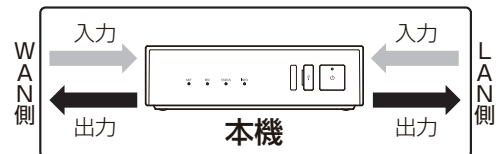
■宛先IPアドレス

■開始ポート番号
1~65535の数値

■終了ポート番号
1~65535の数値

■プロトコル
「TCP」、「UDP」、「Both」

■通信の方向
「IN」：LAN側やWAN側から本機への入力
「OUT」：本機からLAN側やWAN側への出力



- 文字を入力する
(取扱説明書 36ページ)
- 範囲外の数値を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。

ファイアウォール機能の設定

インターネット接続時に外部からのアクセスを制限して不正アクセスを防止する機能です。

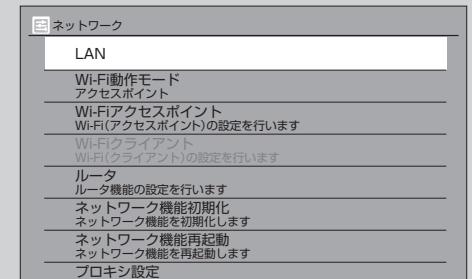
- ▲▼で「ファイアウォール機能」を選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに「有効」「無効」が切り換わります。「有効」になっているときは、項目の右側にマークが表示されます。

その他のネットワーク設定

- ホーム画面で **メニュー** を押す
● ホーム(サブ)画面が表示されます。
- ◀▶でメニューの「設定/料金」を選び、**決定**を押す
- ▲▼◀▶で「本体設定」を選び、**決定**を押す

- ▲▼で「ネットワーク」を選び、**決定**を押す



ネットワーク機能を初期化する

ネットワーク関連の設定を工場出荷時の状態に戻します。

- ▲▼で「ネットワーク機能初期化」を選び、**決定**を押す

- ◀▶で「OK」を選び、**決定**を押す

ネットワーク機能を再起動する

ネットワーク機能を再起動します。ネットワークの設定内容は、そのまま保持されます。

- ▲▼で「ネットワーク機能再起動」を選び、**決定**を押す

- ◀▶で「OK」を選び、**決定**を押す

プロキシを設定する

インターネット用ブラウザのための設定です。

ご加入のケーブルテレビ局やプロバイダーから指定があった場合のみ、設定してください。

- ▲▼で「プロキシ設定」を選び、**決定**を押す

- 暗証番号を設定している場合は、暗証番号の入力が必要です。
- 各項目は、申し込み後に送られてくる内容に従って入力してください。
- 「プロキシ機能」は「有効」の状態でお使いください。「有効」になっているときは、「プロキシ機能」の右側にマークが表示されています。
- 設定後は必ず一度電源を「切」にしてから、再度電源を「入」にしてください。
- 設定は、「設定値を更新」を選び **決定** を押すと有効になります。

● その他のネットワーク設定
● ルーターの設定

● ネットワークの設定

Q&A

Q	A	ページ
ネットワークへ接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> LANの設定の接続テストを行ってください。エラーメッセージが表示された場合は、内容を確認して接続や設定をご確認ください。 本機前面のネットランプ(NET)は緑点灯していますか。ランプ表示の詳細については取扱説明書118ページをご確認ください。 	16 -
有線(LANケーブル)でネットワークへ接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> LANの設定の接続テストを行ってください。エラーメッセージが表示された場合は、内容を確認して接続や設定をご確認ください。 LANケーブルがきちりと挿入されているか、またはLANケーブルが断線していないか確認してください。 プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。 	16 4~9 9
本機をアクセスポイントとして使用時に無線LAN(Wi-Fi)接続ができない。	<ul style="list-style-type: none"> Wi-Fi動作モードが「アクセスポイント」になっていることを確認してください。「クライアント」「OFF」に設定の場合は、無線LAN(Wi-Fi)接続ができません。 電波を使う機器が近くにある場合は、機器から離してご使用ください。(電子レンジ、デジタルコードレス電話機など) 本機または接続機器を、良好な電波状態が確保できる場所に移動してください。 本機と接続機器の通信規格(802.11nなど)や暗号化方式が異なっていませんか。本機と接続機器の通信規格および暗号化方式を同一にして接続を確認してください。 接続機器側の設定で、本機以外のアクセスポイントを選んでいませんか。本機のSSID1~3をご確認のうえ、正しく選択してから接続を確認してください。 	27 - - 30,31 30
無線LAN(Wi-Fi)使用時、映像が途切れたり接続が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> 無線LAN(Wi-Fi)で接続する場合は、SSID3(通信周波数帯5 GHz)、SSIDの動作モード11nを推奨します。(本機の場合は802.11a/nに設定してください。)接続する対象機器が802.11a/nに対応していることを確認してください。 電波を使う機器が近くにある場合は、機器から離してご使用ください。(電子レンジ、デジタルコードレス電話機など) 本機または接続機器を、良好な電波状態が確保できる場所に移動してください。 通信チャンネルやチャンネルの幅を変更することで症状が改善することがあります。(接続機器の取扱説明書もご覧ください。) 	30 - - 28,29

Q	A	ページ
ホームネットワークに接続したが別の部屋のDLNA対応録画機器を登録できない。(LAN録画/ダビング)	<ul style="list-style-type: none"> DLNA対応録画機器の電源がオフまたは異常状態になっている場合など、正しく登録できないことがあります。DLNA対応録画機器を再起動し、「放送・システム」→「ネットワーク関連設定」→「ホームネットワーク(DLNA)設定」→「サーバー機器一覧」でLAN録画に対応しているか、ダビングに対応しているか確認してください。 DLNA対応録画機器と本機が正常に接続できていないと正しく登録できません。LANケーブルの接続や設定に問題がないか確認してください。 DLNA対応録画機器側の動作制限(他の録画予約を実行しているなど)、異常状態になっているなどの場合、正しく登録ができないことがあります。録画機器の動作仕様については、録画機器の取扱説明書を参照してください。 	19 - -
本機のソフトウェアのダウンロードを行った後、ネットワークへ接続ができなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。 	-
内蔵ルーターを使用して本機からインターネットに接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ハブの代わりにルーターを接続されていると正常に動作しない場合があります。ルーターはブリッジモードまたはDHCPサーバー機能が無効になる設定にしてください。 	4,5
内蔵ルーターを使用できるように設定変更をしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルテレビ局のサービス内容に合わせて、本機の機能が設定されます。お客様での内蔵ルーターの設定変更はできません。 	-